

Panasonic[®]

添付文書 取扱説明書

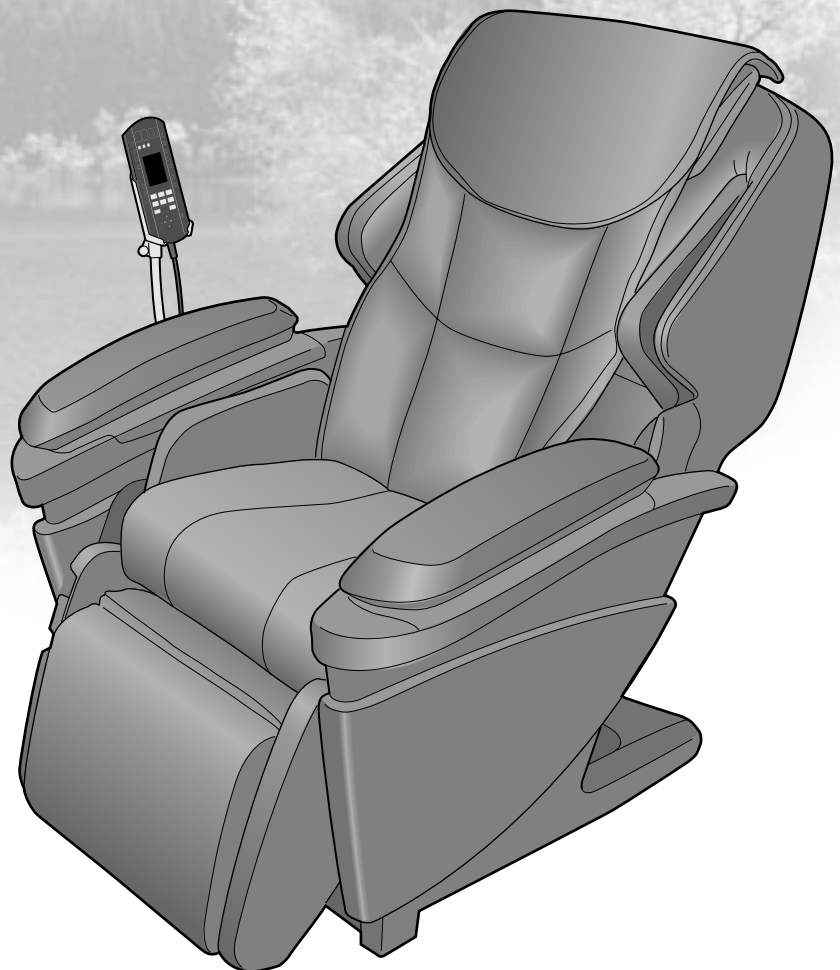
家庭用

マッサージチェア

品番

EP-MA70

リアルプロ



- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保管用

保証書別添付



マッサージをするとき しないとき 使用シーンに合わせてご利用いただけます

もくじ

ご使用前に

●安全上のご注意	4～7
●各部のなまえとはたらき	8～11
●設置する	12～13
●組み立てる	14～17
●毎回マッサージをはじめる前に	18～21

使いかた

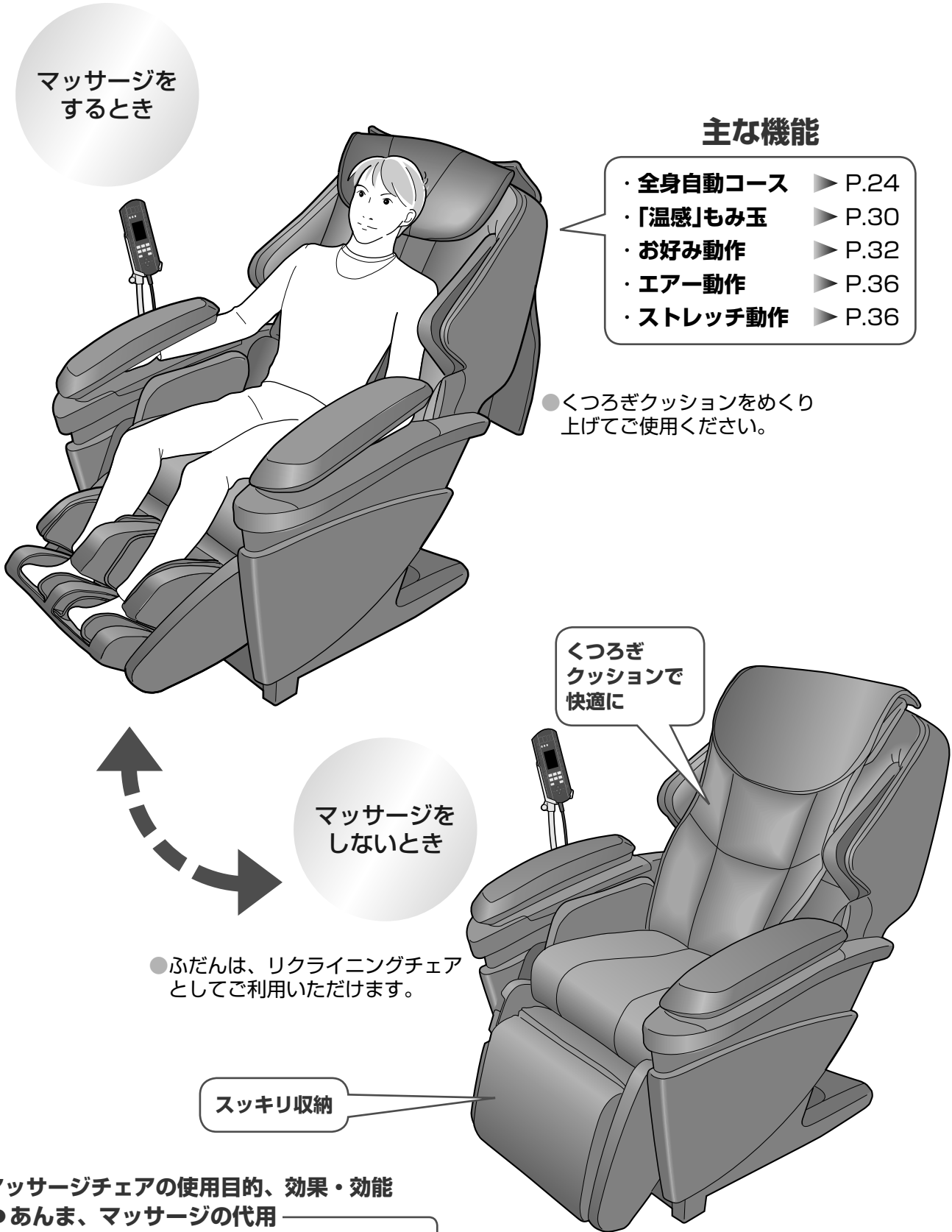
●簡単な使いかた	22～23
●全身を自動でマッサージしたい	24～27
・全身自動コースをはじめる	
・首・肩・背・腰のマッサージ強さを調節する	
・エアーマッサージやストレッチを切/入する	
●自分好みの設定を登録したい	28～29
・お気に入りの設定を登録する	
・登録した設定ではじめる	
●「温感」もみ玉を使いたい	30～31
●「首をもみたい」「肩をたたきたい」など好みの部位を 好みの動作で集中してマッサージしたい	32～35
・好み動作をはじめる	
・強さや位置を調節する	
●「肩」「腕」「腰」「脚」のエアーマッサージや 「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチがしたい	36～40
・エアーマッサージ/ストレッチをはじめる	
・強さを調節する	
・「脚」エアーマッサージ/ストレッチの上手な使いかた	
●リクライニング角度と脚のせ台を調節する	41
●マッサージを終了する	42～43

お手入れ／Q & A

●お手入れのしかた	44～45
●本体を移動するときは	46～47
●Q&A	48～52

お知らせ

●全身自動コース／動作の内容／音声ナビ機能について	53～54
●エラー表示について	55
●故障かな？と思ったとき	56～57
●定格・仕様	58～59
●保証とアフターサービス	裏表紙



マッサージチェアの使用目的、効果・効能

- あんま、マッサージの代用
- ・疲労回復
- ・血行の促進
- ・筋肉の疲れをとる
- ・筋肉のこりをほぐす
- ・神経痛・筋肉痛の痛みの緩解

●脚だけ、上半身だけマッサージを使いたいときはP.48をご参照ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	---

 警告	
 必ず守る	● 医師の治療を受けているときや下記の人には必ず医師と相談のうえ使用する。 (1)ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電子機器を使用している人 (2)悪性しゅよう(腫瘍)のある人 (3)心臓に障害のある人 (4)温度感覚喪失が認められる人 (5)妊娠中や出産直後の人 (6)糖尿病など高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 (7)骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)を骨折している人、ねんざ(捻挫)、肉離れなどの急性とう(疼)痛性疾患の人 (8)施療部位に創傷のある人 (9)体温38℃以上(有熱期)の人 (例：急性炎症症状[けん怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱しているとき) (10)安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき (11)背骨に異常のある人、曲がっている人 (12)椎間板ヘルニア症の人 (13)上記以外に身体に特に異常を感じているとき 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときや使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
	● マッサージ使用中や背もたれ、脚のせ台を動かすときは必ず周囲(本体の後部、下部、前部、側部)に人やペットがいないことを確認する。 ● 体型センシングしたときは必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは位置調節ボタンで肩の高さを調節するか、マッサージを停止して再度体型センシングを行う。(全身自動コース、お好み動作のとき) 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● ご使用前には、必ずくつろぎクッションをめくり上げて、本体の布地が破れていないか確認する。また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。 (どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。

 警告	
 必ず守る	● はじめは弱い刺激でマッサージする。 ● マッサージは1回16分以内にする。 ● 同一個所への使用は5分以内にする。 守らないと逆効果やけがのおそれがあります。
	● 「温感」もみ玉を使用するときは、長時間もみ玉を同一個所に触れないようにする。 低温やけどのおそれがあります。
	● ご使用の後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜き、電源プラグを抜く。 守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグは根元まで確実に差し込む。 守らないと感電や発熱による火災の原因になります。 ● 電源プラグのほこり等は定期的にとる。 守らないと湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。 (ほこりは乾いた布でふいてください。)
 禁止	● 次の人は使用しない。 医師からマッサージを禁じられている人(例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など) 症状を悪化させるおそれがあります。
	● 次の人は骨盤ストレッチを使用しない。 (1)急性腰痛、椎間板ヘルニア、腰椎すべり症の人 (2)変形性股関節症など股関節の悪い人 (3)骨粗しょう(鬆)症の人 (4)使用中に脚のしびれ、だるさを感じた人 症状を悪化させるおそれがあります。
	● 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意して、首の前方や過度に強いマッサージはしない。 ● 背もたれやひじ掛けの上にのらない。 ● 足を入れた状態、本体に座った状態で脚のせ台反転ロック解除レバーを引かない。 ● お子様に使わせない。また本体の上で遊ばせたり、座面・背もたれ・ひじ掛けの上にのらせない。 ● ご自分で意思表示ができない人、または操作できない人は使わない。 事故やけがのおそれがあります。
	● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。 (海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。) 感電・故障や発熱による火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	● ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。 感電の原因になります。
 分解禁止	● 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

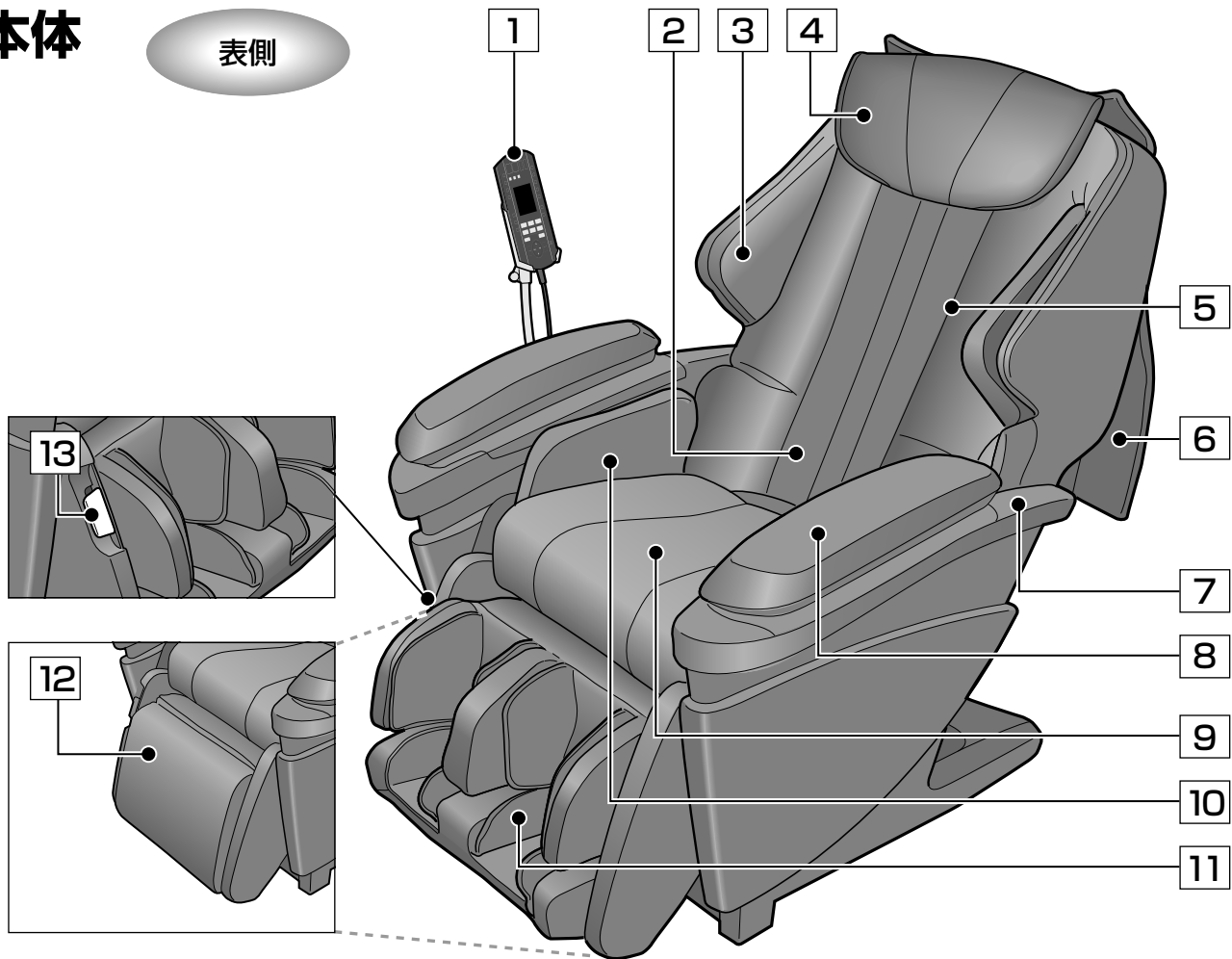
⚠ 注意	
⚠ 必ず守る	● 現在健康でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1)加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人 (2)骨や内臓に起因する腰痛の人 (3)打ち身やねんどのしやすい人 (4)乗物酔いの激しい人 (5)過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。
	● もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。 ● 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。 （背もたれ、脚のせ台、手・腕マッサージ部に異物がはさまっていないか確認する。） ● 脚のせ台が回転しないことを確認してから座る。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 頭部につけた髪かざりなどの硬いものははずしてから座る。 ● スポンのポケットに硬いものを入れたままマッサージしない。 ● 手や腕をマッサージするときは、時計、つけ爪、指輪など硬いものははずす。 守らないとけがのおそれがあります。
	● マッサージ中に本体から降りるときは、必ず動作を止めてから降りる。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。 守らないと感電やショートのおそれがあります。
	● 安全のためにアースを確実に取り付ける。(P.15参照) 守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
	● キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ(床から約80cm以下)、ゆっくり移動する。(P.47参照) 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● 水平な場所で使用する。 守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
	● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。 守らないと感電や発火のおそれがあります。
	● 本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	● 施錠キー・取付ネジは、子供の手の届かない場所に保管する。 守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意	
⚠ 禁止	● 他の治療器と同時に使用しない。 事故や体調をくずすおそれがあります。
	● もみ玉に頭、おなか、素肌をあてない。また、もみ玉に手や脚をはさまない。 ● 脚・足裏マッサージ部にひざをはさまない。 ● 使用中に眠らない。また、飲酒後の使用はしない。 ● エアー動作のエアーが完全に抜けきっていないときに、座面の上に立ったり、飛びのったり、物をのせたりしない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 下記のような本体の隙間に手、指、脚や頭を入れない。 (1)背もたれと座面、ひじ掛けの隙間 (2)脚のせ台と座面、ひじ掛けの隙間 (3)座面とひじ掛けの隙間 (4)裏カバーと脚カバーの隙間 (5)脚のせ台の裏側 ● マッサージ使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	● 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上ののったり、立ったり、物をのせたりしない。 脚のせ台の先端部分が回転したり、本体が傾いて事故やけがのおそれがあります。
	● 設置された状態のまま、本体を引きずったり押したりしない。 ● 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。 床やたたみに傷がつくおそれがあります。
	● 人をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● 本体を移動するときは、足裏マッサージ部を持たない。 守らないと移動中にスライドし、けがをするおそれがあります。
	● ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。 火災のおそれがあります。
	● 浴室など湿気の多い場所で使わない。 感電や故障の原因になります。
	● 本体や操作器には水などをこぼさない。 感電やショート、故障の原因になります。
⚠ 電源プラグを抜く	● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電ややけどのおそれがあります。
	● 停電のときは直ちに電源プラグを抜く。 停電復帰時、事故やけがのおそれがあります。
	● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

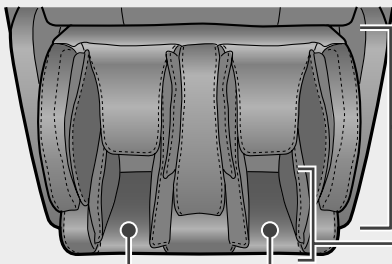
各部のなまえとはたらき

本体

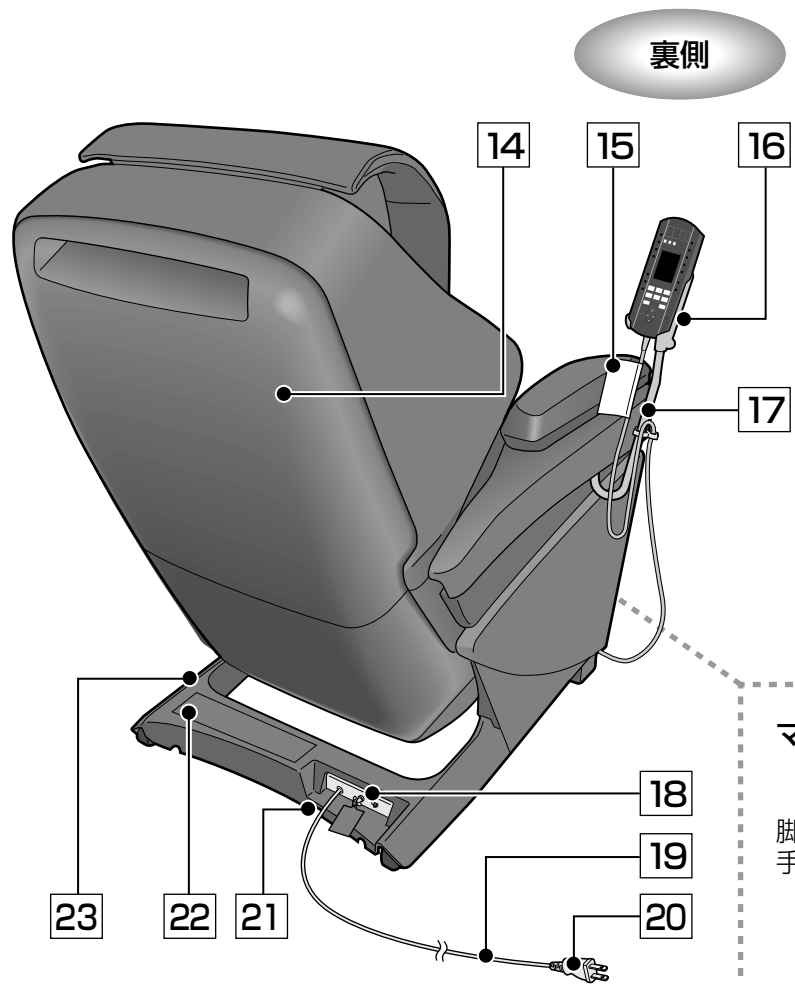
表側

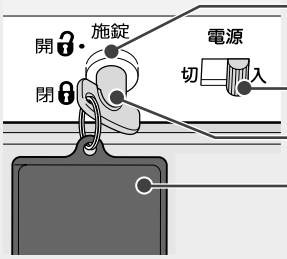


- 1 操作器 ▶ P.10 ~ 11参照
- 2 もみ玉収納位置
- 3 肩横マッサージ部
●エアー（空気）によるマッサージ機能内蔵。
- 4 枕
- 5 背もたれ
●もみ玉
→もみ機構部によるマッサージ機能内蔵。
→「温感」もみ玉内蔵。
●腰マッサージ用エアーバッグ内蔵。
- 6 くつろぎクッション
- 7 ひじ掛け
●背もたれと連動して動きます。
- 8 手・腕マッサージ部
●エアー（空気）によるマッサージ機能内蔵。
- 9 座面
●おしり、ふとももマッサージ用エアーバッグ内蔵。

- 10 おしり・ふともも横マッサージ部
●エアー（空気）によるマッサージ機能内蔵。
- 11 脚のせ台 脚・足裏マッサージ部
●エアー（空気）によるマッサージ機能内蔵。
●脚スライドによる位置調節可能。

●足裏指圧シート(着脱可能)
- 12 脚のせ台 フラット部
●マッサージを使用しないときは反転収納し、くつろぎチェアとして使用。
- 13 脚のせ台反転ロック解除レバー
●レバーを引きながら手動で反転切替します。(フラット部 ⇄ 脚・足裏マッサージ部)

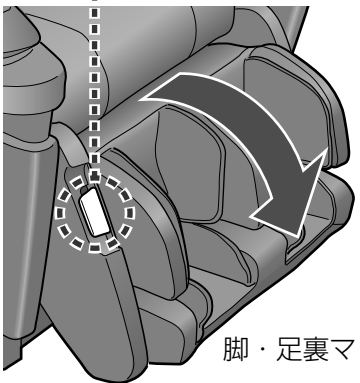
裏側



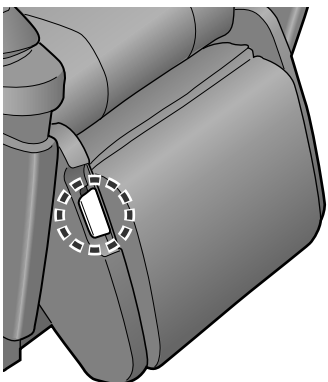
- 14 裏カバー
- 15 注意シール
- 16 操作器ホルダー
- 17 操作器スタンド
- 18 電源スイッチ部

●お買い上げ時は施錠スイッチは「開」、電源スイッチは「入」になっています。
- 19 電源コード
- 20 電源プラグ
- 21 アース端子
- 22 安全上のご注意(シール)
- 23 脚カバー

マッサージを使わないときは収納できます

脚のせ台反転ロック解除レバーを引きながら手動で反転させます。



脚・足裏マッサージ部

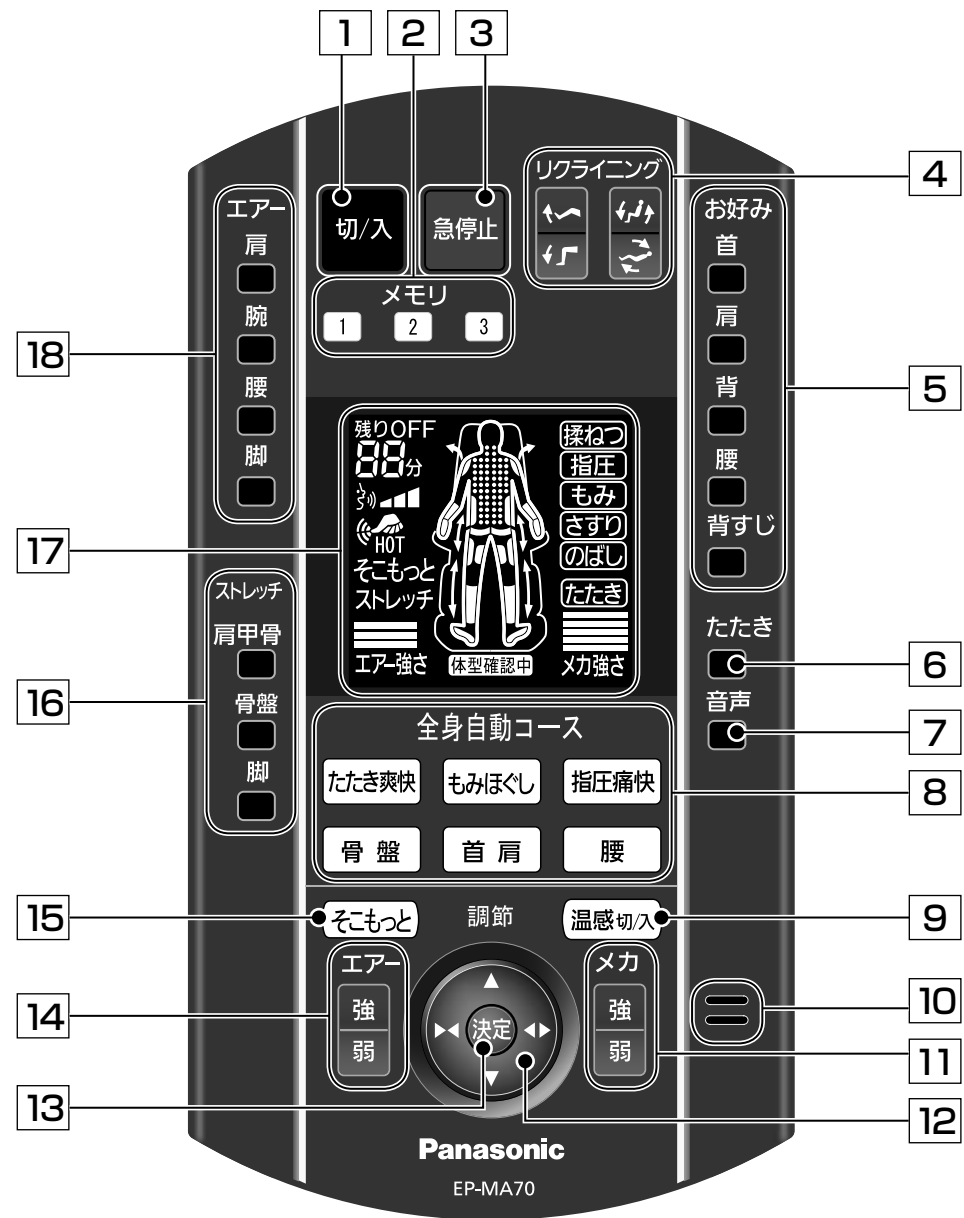


フラット部

次のページにつづく

ご使用前に

操作器



- 1 切／入ボタン

2 メモリボタン ▶ P.28 ～ 29参照

3 急停止ボタン
●マッサージを急いで停止したいときに押します。

4 リクライニング角度調節ボタン▶ P.41 参照

5 お好み動作選択ボタン ▶ P.32参照

6 たたきボタン ▶ P.35参照

7 音声ナビボタン ▶ P.54参照

8 全身自動コース選択ボタン▶ P.24参照

9 「温感」もみ玉切／入ボタン▶ P.30参照
- 10 スピーカー

11 メカ強弱調節ボタン ▶ P.23参照

12 もみ玉位置調節ボタン ▶ P.25参照

13 決定ボタン

14 エアー強弱調節ボタン ▶ P.23参照

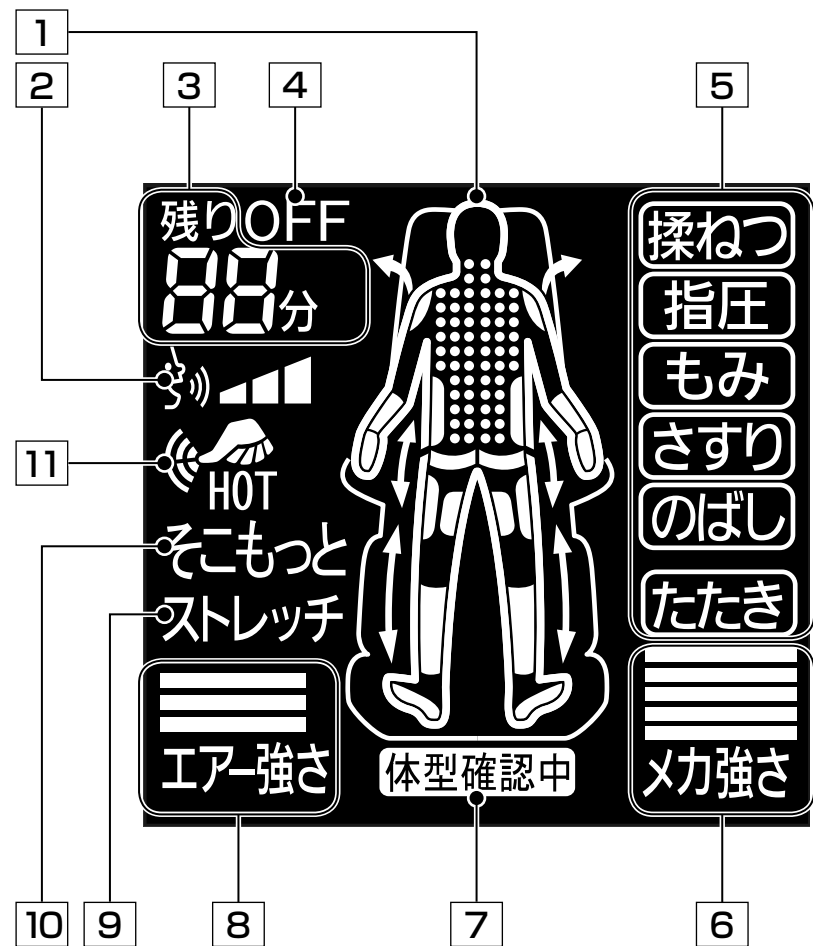
15 そこもっとボタン ▶ P.26参照

16 ストレッチ切／入ボタン▶ P.36参照
●「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチ。

17 表示部 ▶ P.11 参照
●すべて点灯した状態のイラストです。

18 エアー切／入ボタン ▶ P.36参照
●「肩」「腕」「腰」「脚」のエアー。

表示部



- 1 マッサージエリア表示

2 音声ナビ音量表示 ▶ P.54参照

3 残り時間表示

4 マッサージ終了中表示

5 動作表示
●マッサージ中は現在行っているマッサージ動作を点灯表示します。
●お好み動作を選択しているときは、現在選択されている動作の枠が点滅表示します。
- 6 メカ強さ表示 ▶ P.27参照

7 体型確認中表示 ▶ P.24参照

8 エアー強さ表示 ▶ P.26参照

9 ストレッチ表示 ▶ P.36参照

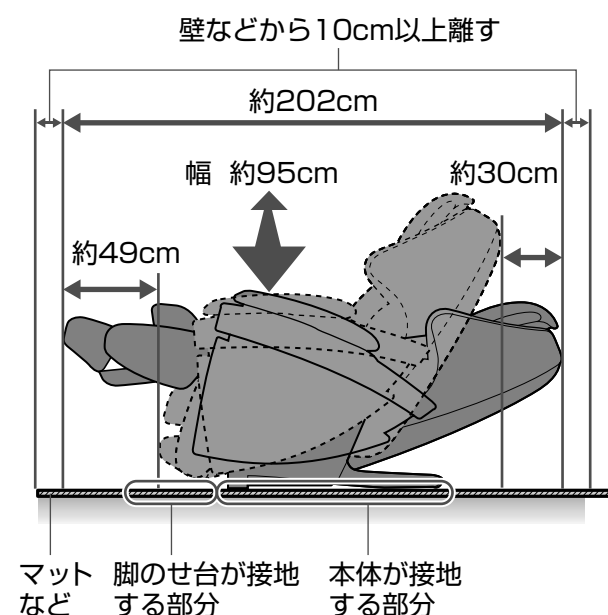
10 そこもっと表示 ▶ P.26参照

11 「温感」もみ玉表示 ▶ P.27参照

設置する

1 設置する場所を決める

- リクライニングできるスペースを確保してください。



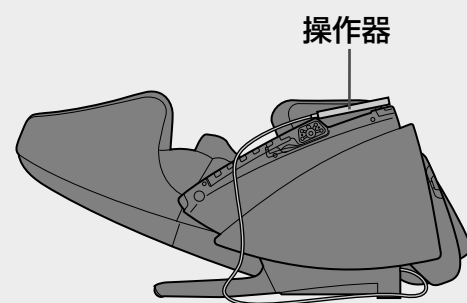
- 直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。合成皮革が変色したり、変質するおそれがあります。
- たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをお勧めします。本体と脚のせ台が接地する部分を覆える大きさ(最低120cm×70cm)のものをご用意ください。
- コンセントの近くに設置してください。

⚠ 注意

- 浴室など湿気の多い場所で使わない。感電や故障の原因になります。
- 水平な場所で使用する。守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
- ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。火災のおそれがあります。
- 本体寸法について詳しくは、P.59をご参照ください。

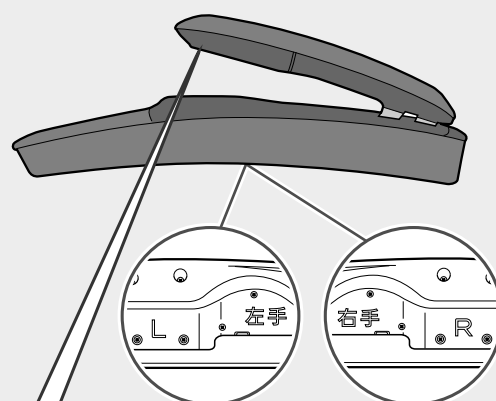
梱包箱には本体と付属品が入っていることを確認してください

本体

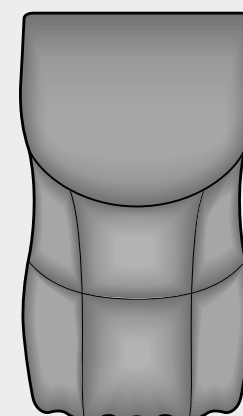


付属品

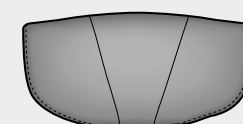
- ひじ掛け(左右)



- くつろぎクッション



- 枕



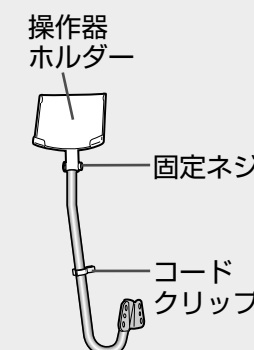
- 六角レンチ(1本)



- 取付ネジ (M6×13) 黒 (4本)

- 取付ネジ (M6×20) シルバー (2本)

- 操作器スタンド



- 足裏指圧シート



お買い上げ時は足裏マッサージ部に装着してあります。

- 施錠キー(1本)



お買い上げ時は電源スイッチ部の施錠スイッチに差し込んであります。

2 梱包箱から本体と付属品を取り出し商品を設置する

⚠ 注意

- 設置された状態のまま、本体を引きずったり押しつたりしない。
- 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。床やたたみに傷がつくおそれがあります。
- 人をのせたまま移動しない。転倒による事故のおそれがあります。
- 本体を移動するときは、足裏マッサージ部を持たない。守らないと移動中にスライドし、けがをするおそれがあります。

側面を持つ



- 重量物ですので搬入時には腰などを痛めないようにご注意ください。(必ず2人以上で運んでください。)

本体を下ろすときは

- 十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
- 脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。途中で手を放すと勢いよく戻ります。
- たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをお勧めします。

組み立てる

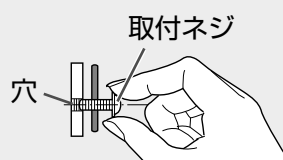
1 左右どちらかの本体側面に操作器スタンドを取り付ける

取付ネジで固定する(4か所)

使用するネジ…取付ネジ(M6×13)

×4本(黒)

ネジの締めかた

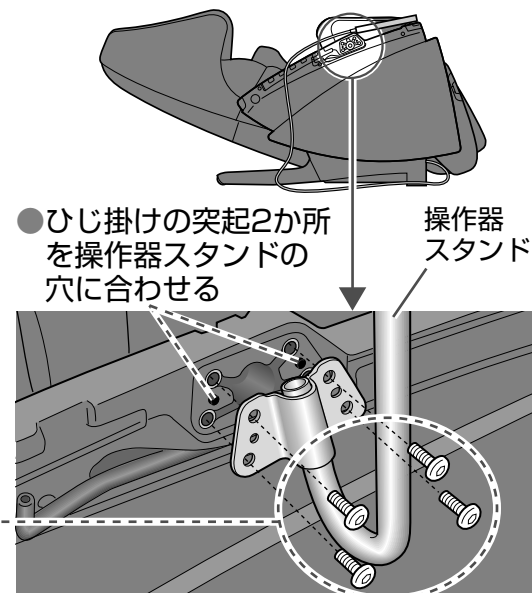


- 4本のネジを指で軽く締める
(ネジ穴とネジが水平になるように)

六角レンチ

- 六角レンチで締める
- ネジ穴に対して、斜めに六角レンチで強く締めるとネジ部が破損するおそれがあります。

<右側のひじ掛けに取り付ける場合>



2 ひじ掛けを取り付ける (左右両方)

1 ひじ掛けを本体にはめ込む

- ひじ掛け裏面に「右手」「左手」の表示があります。
- ひじ掛け側面の▲印同士を合わせるように、上からはめ込んでください。
- 指やエアープラグをはさまないように注意してください。

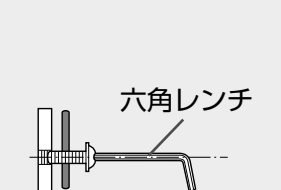
2 ひじ掛けを下方に押さえつけながら、前にスライドさせる

3 取付ネジで固定する(左右各1か所ずつ)

使用するネジ…取付ネジ(M6×20)

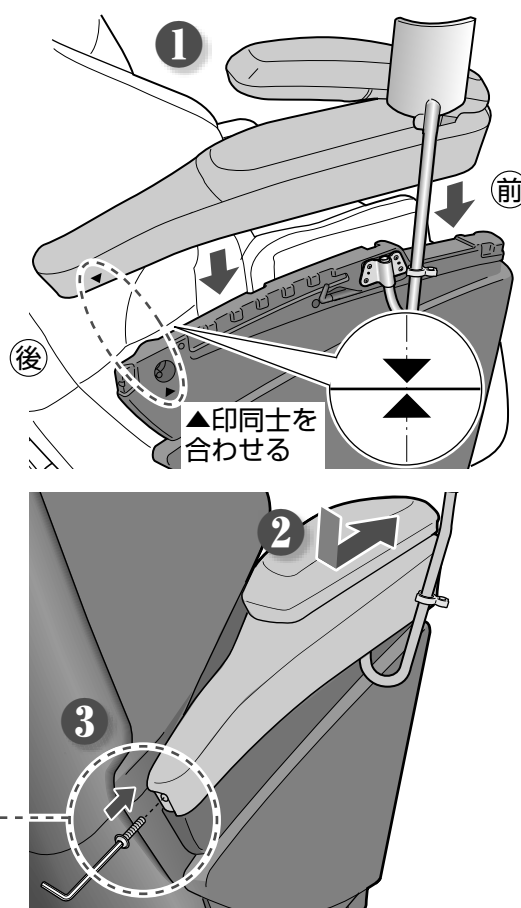
×2本(シルバー)

ネジの締めかた



- 六角レンチ先端にネジを取り付け、ネジ穴とネジが水平になるように締める
- ネジ穴に対して、斜めに六角レンチで強く締めるとネジ部が破損するおそれがあります。

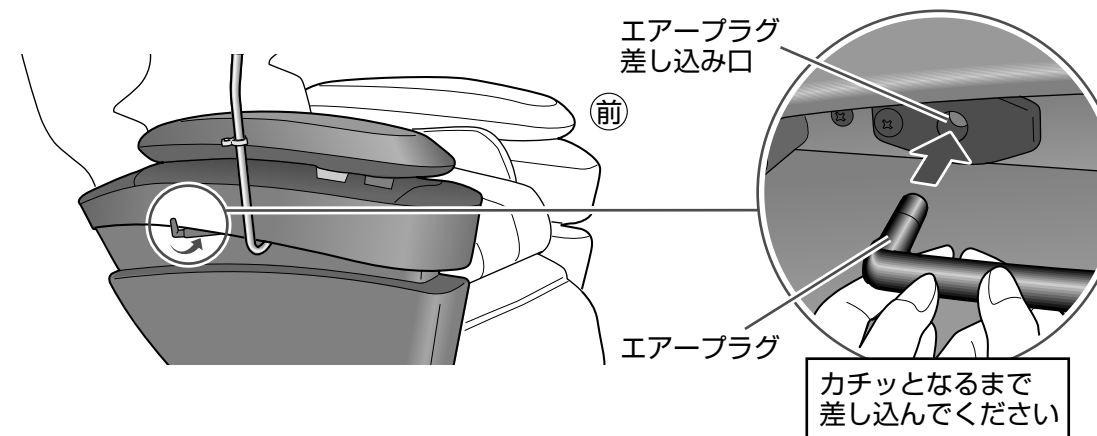
<右手側を取り付ける場合>



3 エアープラグを取り付ける (左右両方)

- エアープラグをひじ掛け下部に差し込む。
※エアープラグがしっかり差し込まれていない場合、腕マッサージが動作しません。

<下から見たイラスト>



4 アースを取り付ける

⚠ 注意

- 安全のためにアースを確実に取り付ける。
守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

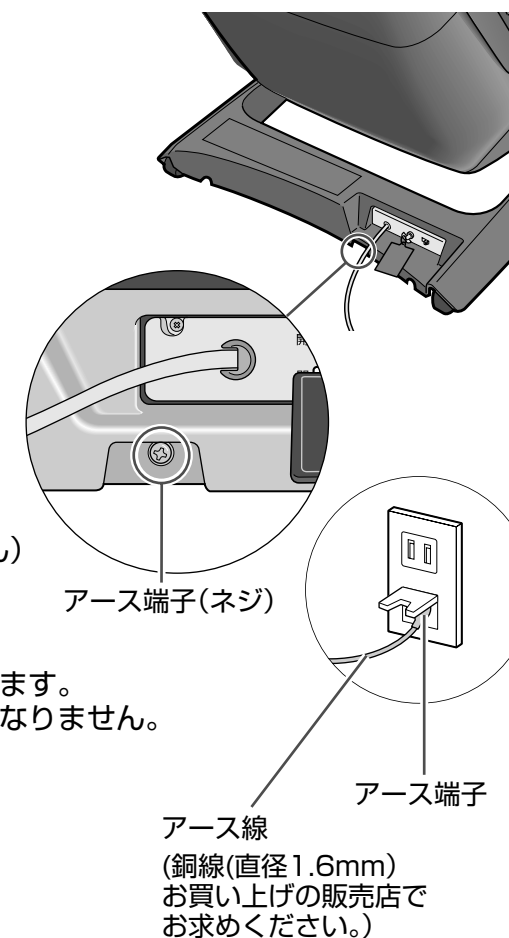
- アース線を、本体のアース端子(ネジ)と電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
(アース線は付属していません)

電源コンセントにアース端子がない場合

- お買い上げの販売店、電気工事店に相談し、アース工事(D種<第三種>接地工事)をしてください。
(アース工事費は本製品の価格には含まれておりません)

取り付けてはいけないところ

- ガス管……………爆発や引火のおそれがあります。
- 電話線や避雷針…落雷の時、感電や発火のおそれがあります。
- 水道管……………途中がプラスチックの場合はアースになりません。



5 電源スイッチを入れ、背もたれを起こす

1 電源プラグを差し込む

- 必ず交流100Vのコンセントに差し込んでください。

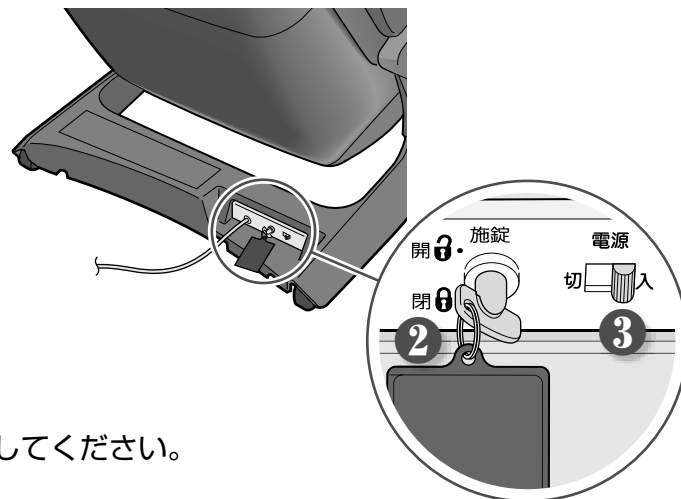


2 施錠スイッチが「開」になっていることを確認する

3 電源スイッチが「入」になっていることを確認する

4 操作器の「切/入」を2回押す

- 一度押した後、約1秒後にもう一度押してください。自動で背もたれが起き上がります。

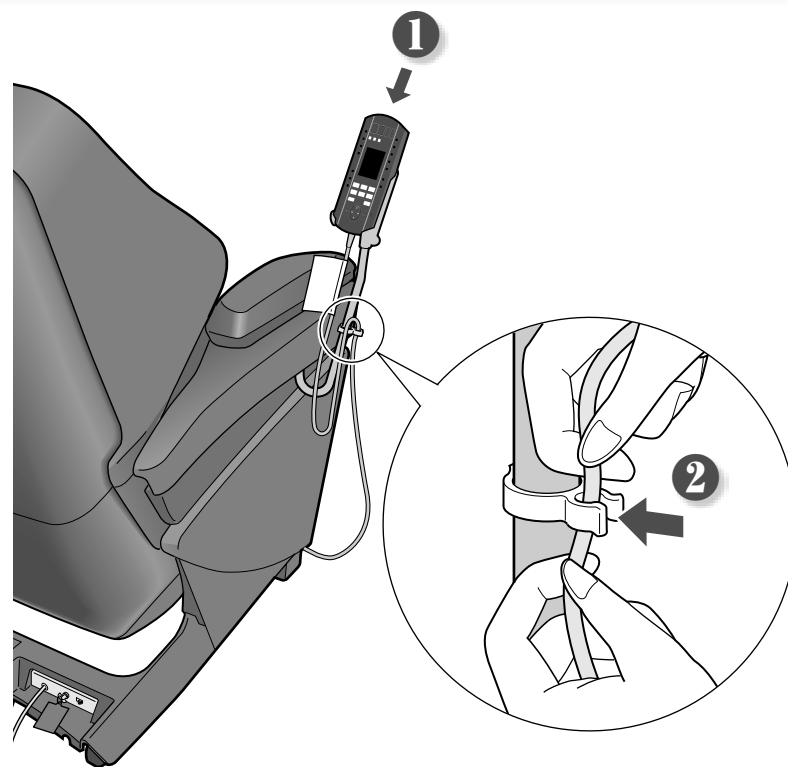


6 操作器を置く

1 操作器スタンドに操作器を置く

2 操作器コードをコードクリップに固定する

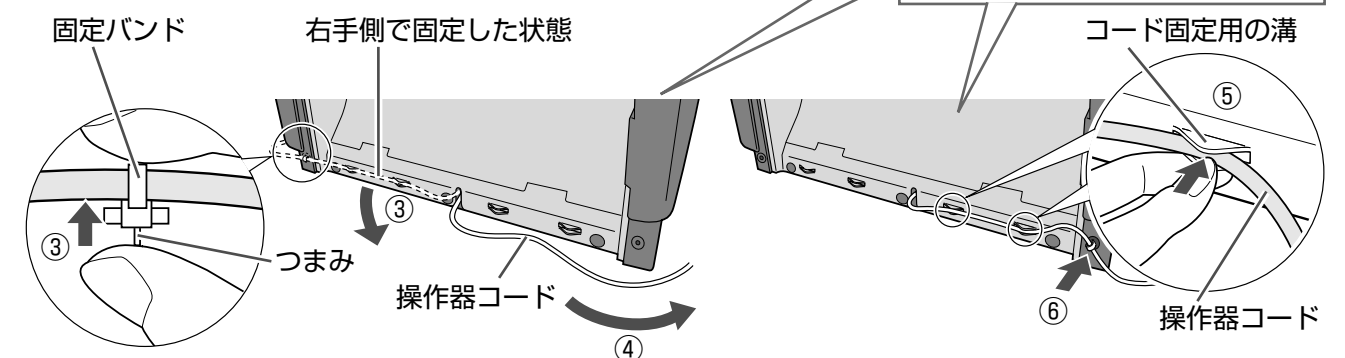
- 背もたれが起きた状態で、クリップより下の部分が大きくなるまいように固定してください。(脚などをひっかけるおそれがあるため)



左手側に操作器スタンドを取り付けた場合

- 以下の手順で操作器コードを左手側に通してください。

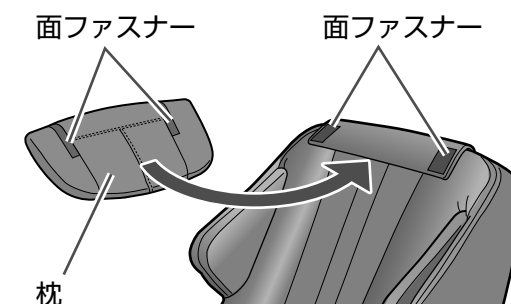
- ①操作器の「切/入」を押して、電源を入れる
 - ②操作器の「↑」を押し続け、脚のせ台を一番上まで上げる
・ピーピーピーという音が鳴るまで押し続けてください。
 - ③操作器コードをはすす
・指先で固定バンドのつまみを押すと、フックが解除されます。
 - ④操作器コードを脚のせ台の下から左手側に通す
 - ⑤操作器コードを固定する
・固定しにくいときは、端からなぞるように押し込んでください。
 - ⑥固定バンドの先端を穴に差し込む
- お買い上げ時は、右手側で固定してあります。



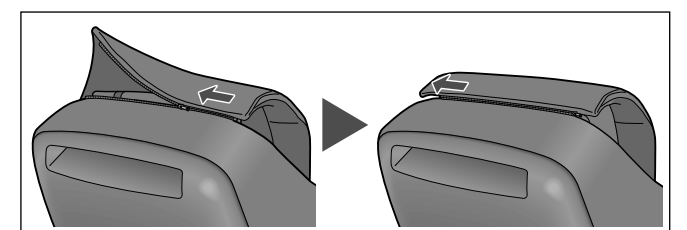
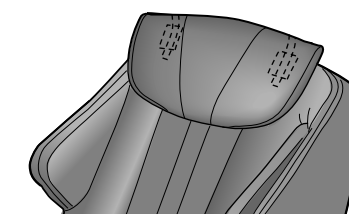
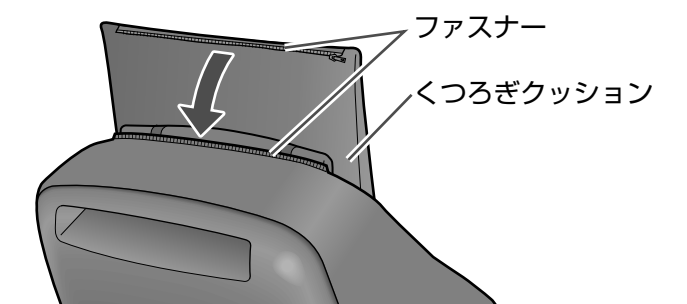
7 枕を取り付け、くつろぎクッションを取り付ける

1 枕を面ファスナーで取り付ける

- マッサージ使用時の枕の位置の目安はP.21参照。



2 くつろぎクッションをファスナーで取り付ける



毎回マッサージをはじめる前に

1 周囲を確認する

周囲に人やペットがいないか、物を置いていないか確認する



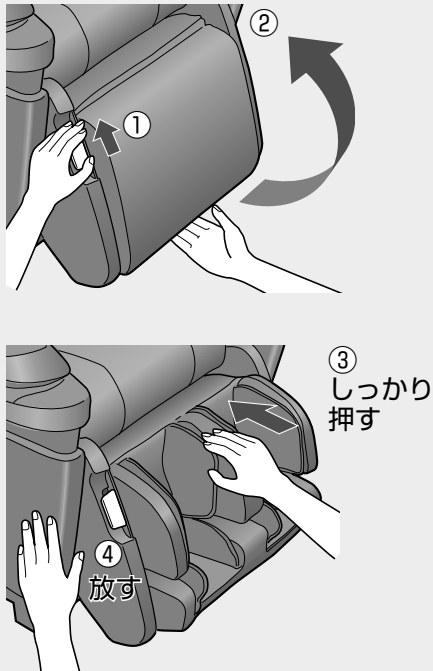
2 くつろぎクッションをめくり上げ、脚・足裏マッサージ部を出す

●くつろぎクッションを背もたれにつけたまま、マッサージをしないでください。



脚・足裏マッサージ部の出しかた

- ① 脚のせ台反転ロック解除レバーを矢印の方向に引きながら
- ② 下から反転させる
- ③ 回転が止まるまで反転させてから
- ④ 脚のせ台反転ロック解除レバーを放す
- ⑤ 脚のせ台が回転しないことを確認する



警告

●足を入れた状態、本体に座った状態で脚のせ台反転ロック解除レバーを引かない。事故やけがのおそれがあります。

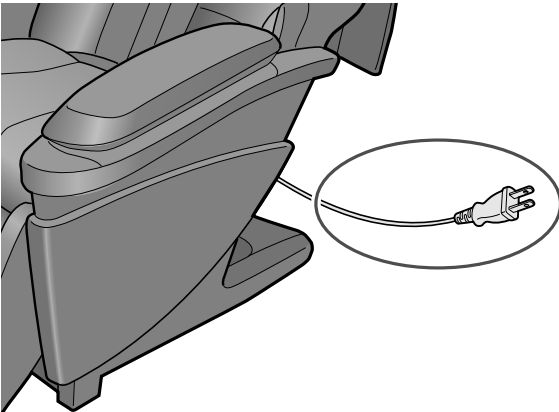
注意

- 脚のせ台が回転しないことを確認してから座る。守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 脚のせ台と座面、ひじ掛けの隙間に手、指、脚や頭を入れない。
- 脚のせ台の裏側に手、指、脚や頭を入れない。けがのおそれがあります。

3 電源コードや電源プラグを確認する

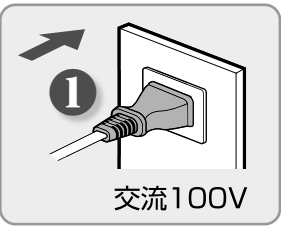
警告

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。守らないと、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。(ほこりは乾いた布でふいてください。)
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。)傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードや電源プラグの修理は販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。



4 本体の電源を入れる

- ① 電源プラグを差し込む
- ② 施錠キーを使って施錠スイッチを「開」にする
- ③ 電源スイッチを「入」にする



警告

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。(海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。)感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。感電の原因になります。

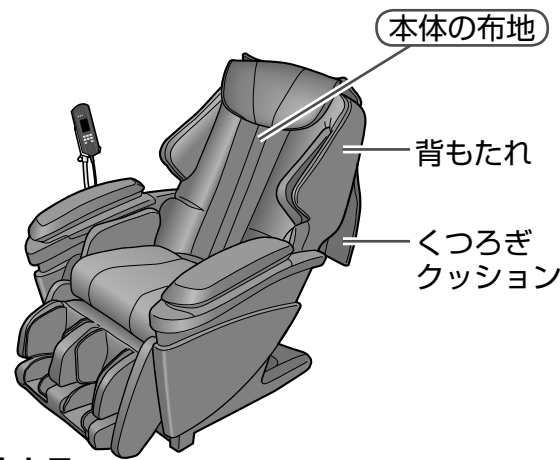


5 本体を確認する

1 布地に破れがないか確認する

警告

- 使用前には、必ずくつろぎクッションをめくり上げて、本体の布地が破れていないか確認する。また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。) 布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。



2 本体に異物をはさまっていないか確認する

注意

- 本体に異物をはさまっていないか確認してから座る。(背もたれ、脚のせ台、手・腕マッサージ部に異物をはさまっていないか確認する。) 守らないと事故やけがのおそれがあります。

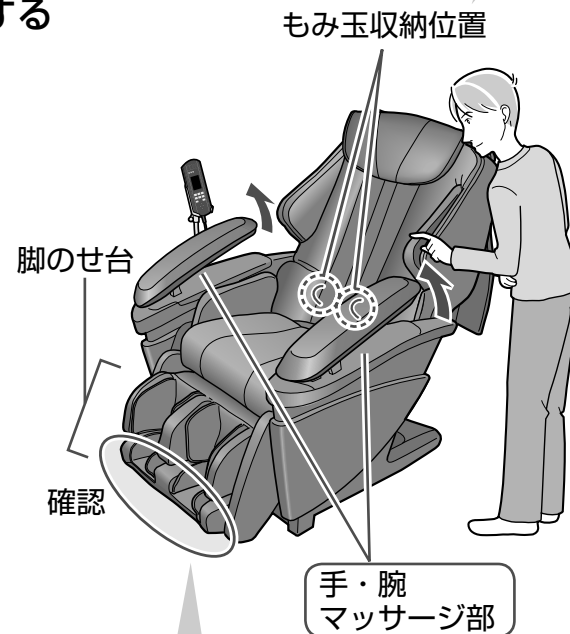
もみ玉が収納位置にない場合

【切/入】を2回押すと収納位置に戻ります。

3 もみ玉が収納位置にあることを確認する

注意

- もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。守らないと事故やけがのおそれがあります。



4 脚のせ台が完全に下がった状態にあることを確認する

注意

- 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上にのったり、立ったり、物をのせたりしない。脚のせ台の先端部分が回転したり、本体が傾いて事故やけがのおそれがあります。

5 脚のせ台が回転しないことを確認する

注意

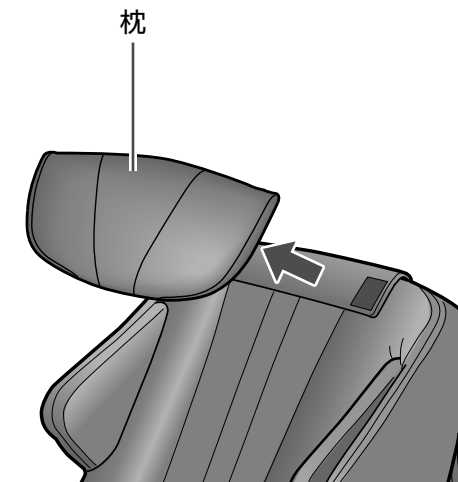
- 脚のせ台が回転しないことを確認してから座る。守らないと事故やけがのおそれがあります。

脚のせ台が完全に下がっていない場合

【切/入】を2回押すと脚のせ台が下がります。

6 枕の位置を調節する

1 枕をはがす



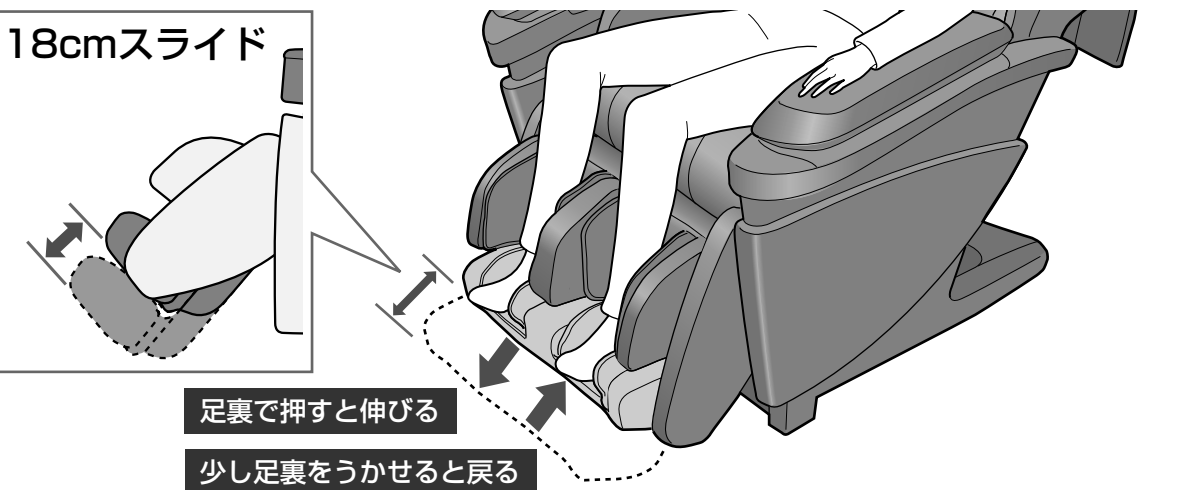
2 枕の下端が耳の位置にくるように調節する

- 枕の位置が低すぎると、首周辺のマッサージのさまざまになります。
- リクライニング角度が変わると枕の位置がずれることがあります。そのときは再び調節してください。



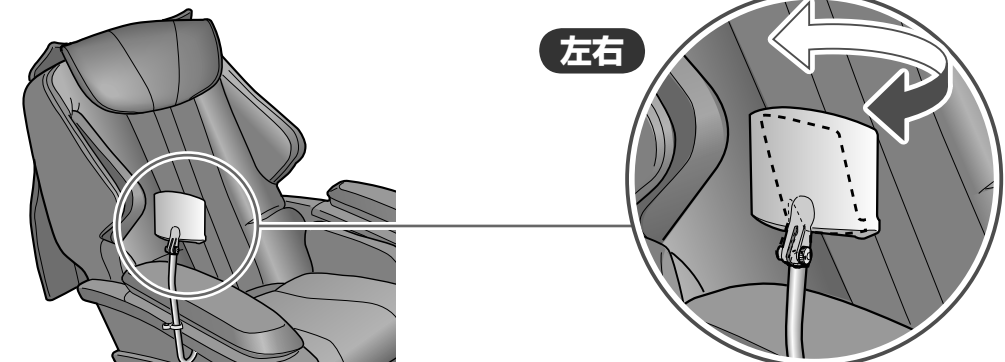
7 足裏マッサージ部をお好みの位置にスライドさせる

最大約18cmスライドします



8 操作器スタンドを調節する

左右の向きが調節できます



簡単な使いかた

1 切/入 を押して、

電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

2 各操作を行う

全身自動コース

●詳しい使いかたは P.24 ~ 27

全身自動コース

たたき爽快 もみほぐし 指圧痛快
骨盤 首肩 腰

から1つ
選んで押す

お好み動作

●詳しい使いかたは P.32 ~ 35

1 お好みの部位を選んで押す

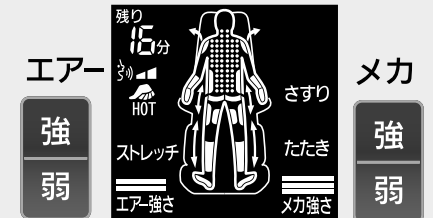
●お好み動作とエアー動作は同時にできます。

お好み
首
肩
背
腰
背すじ
部位
たたき
動作

より自分好みに合わせる

自動コースの強さを調節したい

●ボタンを押すとマッサージの強さを調節できます。(3段階で表示します)



エアー動作

●詳しい使いかたは P.36 ~ 40

1 お好みの部位を選んで押す

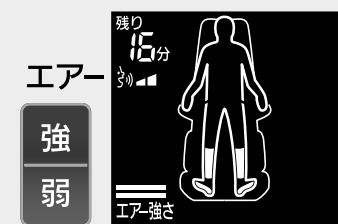
●複数の部位を選択できます。

エアー
肩
腕
腰
脚
部位

より自分好みに合わせる

エアーマッサージの強さを調節したい

●ボタンを押すとエアーマッサージの強さを調節できます。(3段階で表示します)



ストレッチ動作

●詳しい使いかたは P.36 ~ 40

1 お好みの部位を選んで押す

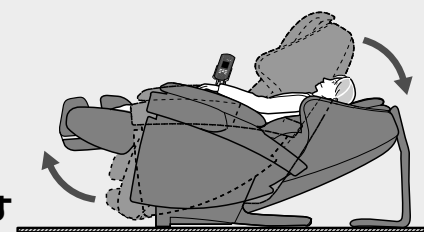
●複数の部位を選択できます。

ストレッチ
肩甲骨
骨盤
脚
部位

2 背もたれを倒す



を押す



●詳しい椅子の調節方法はP.41

より自分好みに合わせる

強さを調節したい

●ボタンを押すとエアーとメカそれぞれの強さを調節できます。(3段階で表示します)



全身を自動でマッサージしたい



1 切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

2 全身自動コース

たたき爽快 もみほぐし 指圧痛快
骨盤 首肩 腰

から1つ選んで押す

全身自動コースの特徴(上半身)

- たたき爽快... たたきを中心に軽快な刺激で心地よく身体をほぐすコースです。
- もみほぐし... もみを中心にコリをしっかりほぐす標準的なコースです。
- 指圧痛快... 指圧を中心にコリのポイントを強めにほぐすコースです。
- 骨盤... エアの動作で骨盤まわりの筋肉をほぐすコースです。
- 首肩... 首から肩を重点的にほぐすコースです。
- 腰... 腰から背中を重点的にほぐすコースです。

●コースのおおまかな内容は ▶ P.53参照

体型センシングがはじまります (体型確認中) を表示

- 正しく体型センシングできる身長目安は約140cm～約185cmの範囲です。

深く腰かけ、頭を枕につけて
ゆったりもたれてください

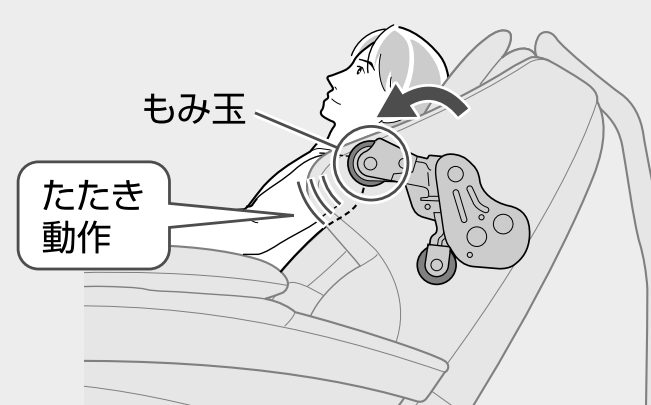


自動的にマッサージポジションになります



- マッサージポジションより深く倒れている場合は、自動リクライニングしません。

体型センシングを開始してから約30秒後に
もみ玉が肩位置までゆっくり下がり、たたき動作がはじまります



- センシング中に体がずれないように、座面のエアが動作します。



- たたき動作がはじまるまで頭を枕から離さないでください。肩位置を正確に検出できなくなります。

たたき動作中に肩位置を調節したいとき

- 肩位置が合っていないときは、たたき動作中(約12秒間)に、位置調節ボタンで肩の高さを調節し 決定 を押してください。



たたき動作が終了すると体型センシング完了です

- たたき動作中でも 決定 を押すと、体型センシングが完了しマッサージがはじまります。
- 肩位置をもとにおおよその身長を推定し、脚のせ台の角度を足裏がつくように自動で調節する場合があります。
- 肩の位置が大きくずれる場合は一旦電源を切り、肩を背もたれにしっかりつけて再度①からやり直してください。

全身を自動でマッサージしたい (つづき)

より自分好みに合わせるために

エアーマッサージやストレッチを切/入したい

メモリ

エアーストレッチ

肩肩甲骨

腕骨盤

腰脚

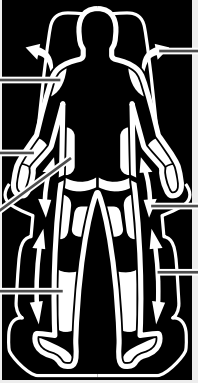
を押すと動作の切/入ができます。

肩肩甲骨

腕骨盤

腰脚

エアーストレッチの切/入は表示部で確認できます。
(点灯：入、消灯：切)



今のマッサージを繰り返したい

そこもつとを押すと現在動作中のマッサージの内容を繰り返します。

- 動作の切替時には、「そこもつと」を受けつけない場合があります。
- 繰り返している間は「そこもつと」が点滅します。

エアーマッサージの強さを調節したい

メモリ

肩・腕・腰・脚をマッサージしているときに

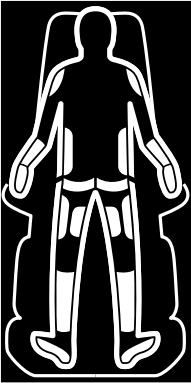
エアーストレッチ

強弱を押して調節します。

エアーストレッチ

エアーストレッチの強さを調節します。

- エアーマッサージ、ストレッチの上手な使いかたや動作内容は、P.36～40をご参照ください。



リクライニング

切/入 急停止

メモリ

1 2 3

残り15分

さすり たたき

ストレッチ エアーストレッチ

全身自動コース

たたき爽快 もみほぐし 指圧痛快

骨盤 首肩 腰

そこもつと 調節 温感切/入

エアーストレッチ

強弱

メカ

強弱

決定

Panasonic EP-A70

位置を微調節したい

(調節できる回数)

3回

3回 3回 3回

決定

場所によっては調節できない場合があります。

注意

メカ(強さ)調節や、エアーストレッチ調節を押しても、もみ感やストレッチ感が変わったことを感じにくい場合があります。

- 動作が切り替わるタイミングで強さを調節した場合
- 個人差や部位ごとの感じかたが異なるため

リクライニング角度・脚のせ台を調節して楽な姿勢でマッサージしたい

リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節するには...

リクライニング

を押して調節します。

足裏マッサージ部のスライド量を調節するには...

足裏で押すと伸びる

少し足裏をうかせると戻る

- 詳しいリクライニング角度・脚のせ台の調節方法はP.41をご参照ください。

「温感」もみ玉を切/入したい

メモリ

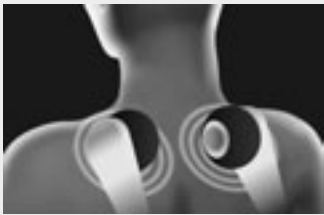
温感切/入を押すと「温感」もみ玉の切/入ができます。

点滅：「温感」もみ玉 準備中

点灯：「温感」もみ玉 入

消灯：「温感」もみ玉 切

- 温度の調節はできません。
- もみ玉の温かさの感覚は体型、マッサージ部位、マッサージ動作、衣服、室温により異なります。
- 「温感」もみ玉について詳しくは、P.31をご参照ください。



メカの強さを調節したい

メモリ

メカ

強弱を押すと、メカの強さを調節できます。

- 現在マッサージを行っている部位は表示画面で確認できます。
- 自動コースの強さ調節は3段階です。
- 強さが最大、最小になるとボタンを押し続けても強さは変わりません。

注意

一度に強さの段階を増やしすぎると、急激に強くなる場合があります。必ず1段階ずつ感触を確かめながら調節してください。

- 安全のために急激に強さの段階が増えないようになっています。
- 一番強くしても物足りない場合、一番弱くしても強すぎる場合はP.50をご参照ください。

メモリ このマークのある項目は、自分好みに設定した内容を登録して利用することができます。(P.28参照)

自分好みの設定を登録したい

全身自動コースご利用中、自分好みに設定した内容を登録して次回利用時に再現することができます。自動コース毎に設定を登録することもできます。

■例：「たたき爽快」コース利用中

- ① エアー「肩」、「脚」を「入」にし、ストレッチ「肩甲骨」を「入」にした。（このときエアーの強さを「1段階」に設定した。）
- ② 「温感」もみ玉は「切」にし、メカの強さを「3段階」に設定した。
- ③ 「音声ナビ機能」（P.54参照）の音量を「大」にした。
- ④ マッサージ終了時、メモリ①に今の設定を登録した。

次回、「たたき爽快」コース利用時にメモリ①を押すと、登録した設定(上記①②③)の内容が再現されます。

1 全身自動コース終了後、またはコース途中で「切/入」を押して終了すると

自分好みに設定(P.26～27、54(音量))して使った内容が表示され、メモリボタンが点滅します。

2 ボタンが点滅中(約15秒間)に登録したいボタンを1つから選んで押す

●選んだボタンが点灯します。(例：①)

すでに別の設定内容が登録されている場合、「別の設定が登録されています」とアナウンスされます。※

■新しい設定の内容※に更新する場合
もう一度同じボタンを押す



※すでに登録されている内容と同じ内容を、別の自動コースや同じ自動コースに登録しようとしてもアナウンスされます。

■すでに登録されている内容を消したい場合
別のボタンを押す



「温感」もみ玉・音量の設定について

この2つの設定のみ全身自動コースすべてに適用されます。例えば上記「■例」で登録したメモリ①を「たたき爽快」以外のコースで使用しても、「たたき爽快」で登録した「温感」もみ玉「切」、音量「大」の設定が適用されます。(エアーやストレッチなどの設定は無効)

登録した設定ではじめるには

1 「切/入」を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

2 登録したメモリボタンを選択する

●登録済のメモリボタンが点灯します。(例：①)

3 メモリボタンに登録している全身自動コースを1つ選んで押す(例：たたき爽快)

体型センシングのあと、登録した設定のマッサージがはじまります。

●登録していないコースを選ぶと通常の全身自動コースのマッサージになりますが、「温感」もみ玉の切/入設定と音量の設定はメモリボタンに登録されている内容になります。(P.28参照)

登録している内容を消したい場合(例：①)

1 「切/入」を押して、電源を入れ、登録を消したいボタンを押す

2 さらに同じボタンを点滅するまで3秒以上押す

3 点滅している間(約10秒間)にボタンをもう一度押す

点滅が消えて、消去完了です。

「温感」もみ玉を使いたい



警告

- 「温感」もみ玉を使用するときは、長時間もみ玉を同一個所に触れないようにする。
低温やけどのおそれがあります。



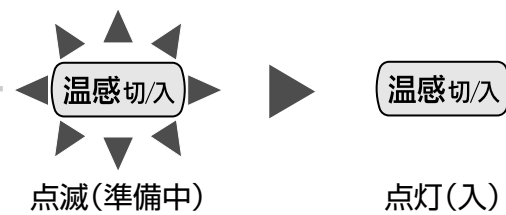
1

切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

2

全身自動コースのボタンを押し、マッサージをはじめる



点滅：「温感」もみ玉 準備中
点灯：「温感」もみ玉 入

- 温度の調節はできません。
- もみ玉の温かさの感覚は体型、マッサージ部位、マッサージ動作、衣服、室温により異なります。

「温感」もみ玉を切にしたい

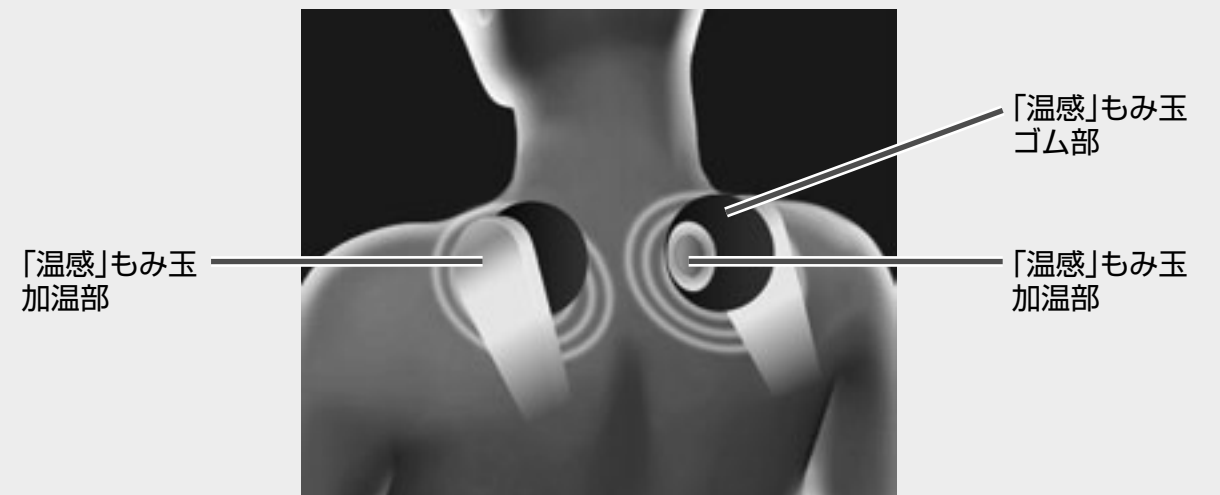
温感切/入 を押して切にします。

- ボタンが消灯します。

「温感」もみ玉を毎回切にしたいとき

- メモリに「温感」もみ玉 切を登録してください。(P.28参照)

「温感」もみ玉の加温部が布地を温めることで
マッサージ個所に温もりが伝わります。

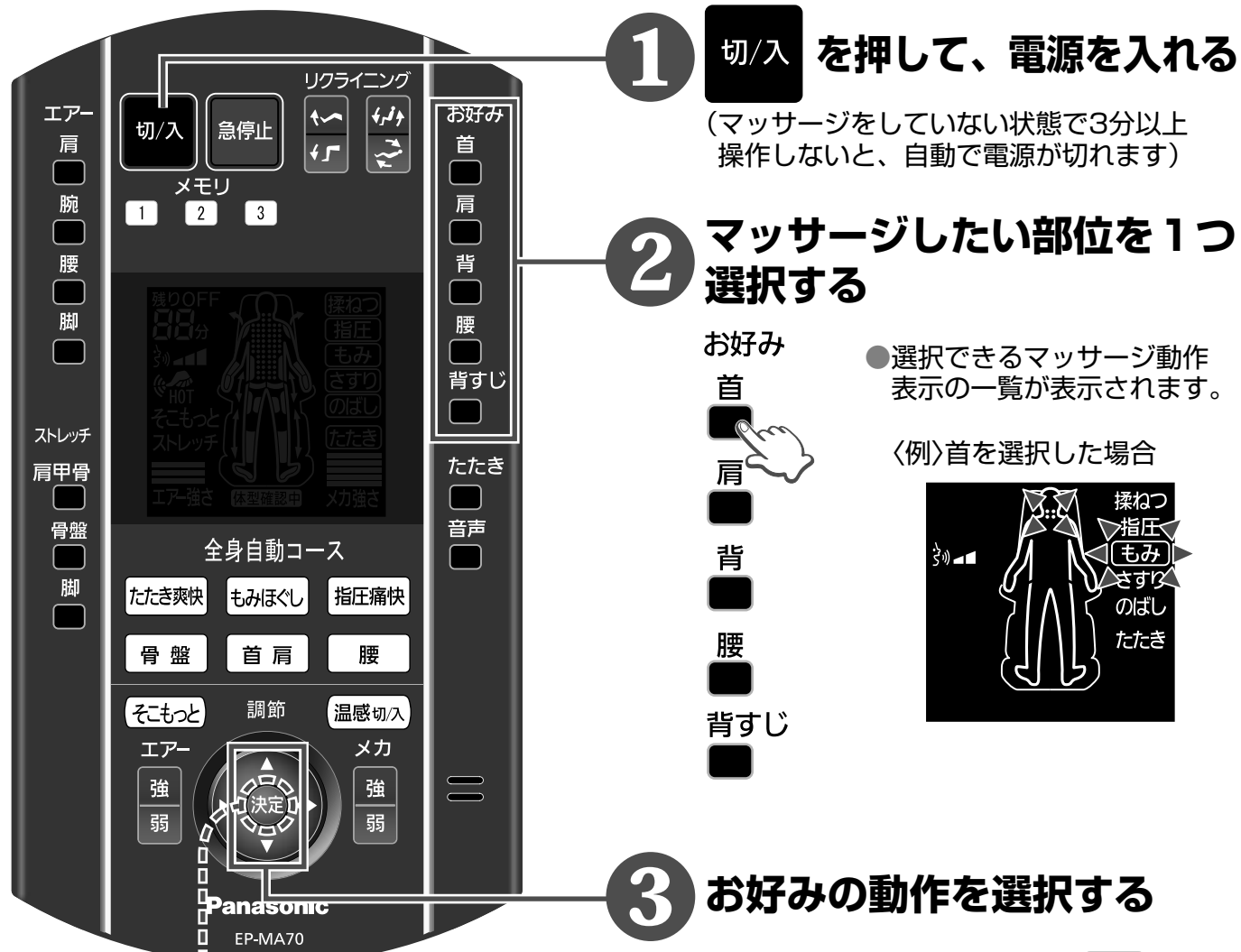


「首をもみたい」「肩をたたきたい」などお好みの部位をお好みの動作で集中してマッサージしたい



警告

- 同一個所への使用は5分以内にします。
守らないと逆効果やけがをするおそれがあります。



1 切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

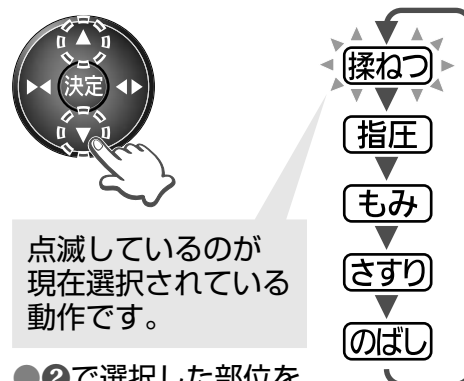
2 マッサージしたい部位を1つ選択する

- 選択できるマッサージ動作表示の一覧が表示されます。

〈例〉首を選択した場合



3 お好みの動作を選択する



点滅しているのが現在選択されている動作です。

- ②で選択した部位を繰り返し押しても、動作を選択できます。
- 背すじ を選択した場合、「のばし」あるいは、「のばし」と他の動作の組み合わせが選択できます。

4 決定 を押して、動作を開始する

- 体型センシングをしたあと、選択した部位にもみ玉が自動で動き、マッサージをはじめます。体型センシングについては、P.24をご参照ください。
- より自分好みのマッサージにしたいときは、P.34～35をご参照ください。
- 同一個所のマッサージが5分続いた場合は、自動で3cmほど上方に移動します。

お好み動作時の体型センシングについて

首・肩・背すじ… 通常のセンシングを行います。

背・腰 …………… 簡易的なセンシングを行います。(肩までもみ玉が上がりません)

途中で動作を変えるときは

手順②～④で再度選択する

- 手順②で再度選択してから約40秒以内に 決定 を押さないと、再度選択した内容が自動的に取り消されます。

たたき動作のみでマッサージしたいときは

- ① 切/入 を押して、電源を入れる
- ② たたき を選択する
- ③ 決定 を押して、たたき動作を開始する
 - ・ 体型センシングは行いません。
 - ・ 途中で動作を変えたいときは、左ページの手順②～④で選択してください。

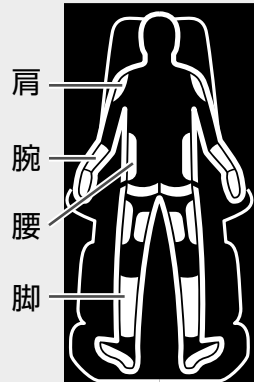
「首をもみたい」「肩をたたきたい」など好みの部位をお好みの動作で集中してマッサージしたい(つづき)

より自分好みに合わせるために

エアーマッサージを同時に使いたい

エアー
肩
腕
腰
脚

を押すと動作の切/入ができます。



エアーの切/入は表示部で確認できます。
(点灯：入、消灯：切)

エアーマッサージの強さを調節したい

エアーマッサージをしているときに、
エアー

強
弱

を押して調節します。

●強さは3段階で表示します。

エアー強さ

位置を微調節したい

調節

決定

で調節できます。

●上下方向はボタンを押したままにすると、離すまで移動し続けます。

注意

ストレッチ動作は同時に行いません。
ストレッチボタンを押すと、好み動作は解除されます。



リクライニング角度・脚のせ台を調節して楽な姿勢でマッサージしたい

リクライニング角度と脚のせ台の角度を調節するには...

リクライニング

を押して調節します。

足裏マッサージ部のスライド量を調節するには...



●詳しいリクライニング角度・脚のせ台の調節方法はP.41をご参照ください。

行っている動作にたたきを加えたい

たたき

を押します。

●押すたびに、たたきあり/なしが選べます。
※たたき動作のみでマッサージをしているときは、あり/なしを選べません。

「温感」もみ玉を切/入したい

温感切/入

を押すと「温感」もみ玉の切/入ができます。

点滅：「温感」もみ玉 準備中
点灯：「温感」もみ玉 入
消灯：「温感」もみ玉 切



- 温度の調節はできません。
- もみ玉の温かさの感覚は体型、マッサージ部位、マッサージ動作、衣服、室温により異なります。
- 「温感」もみ玉について詳しくは、P.31をご参照ください。

メカの強さを調節したい

メカ

強
弱

メカの「強」「弱」を押すと、メカの強さを調節できます。

●好み動作の強さを5段階で表示します。
●動作によって調節できる強さの段階が異なります。

注意

一度に強さの段階を増やしすぎると、急激に強くなる場合があります。
必ず1段階ずつ感触を確かめながら調節してください。



- 安全のために急激に強さの段階が増えないようになっています。

「肩」「腕」「腰」「脚」のエアーマッサージや「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチがしたい



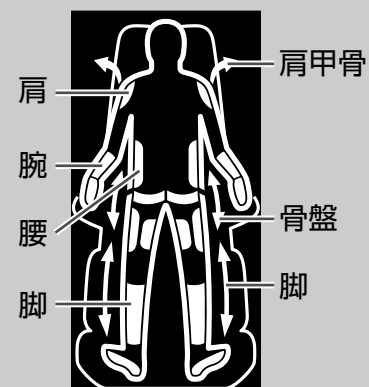
1 切/入 を押して、電源を入れる

(マッサージをしていない状態で3分以上操作しないと、自動で電源が切れます)

2 で動作を選択する

エアーストレッチ
肩 肩甲骨
腕 骨盤
腰 脚
脚

エアーストレッチの切/入は表示部で確認できます(点灯：入、消灯：切)



エアの強さを調節したい

エア

強弱を押して調節します。

●強さは3段階で表示します。

メカの強さを調節したい(ストレッチのみ)

メカ

強弱を押して調節します。

●強さは3段階で表示します。

「温感」もみ玉を切/入したい(ストレッチのみ)

温感切/入を押すと「温感」もみ玉の切/入ができます。

●「温感」もみ玉について詳しくは、P.31をご参照ください。

「脚」エアーマッサージ／ストレッチの上手な使いかた

足裏がつくように脚のせ台を調節してください

小柄な体格の方は

●脚のせ台を上げると足裏がつきやすくなります。



大柄な体格の方は

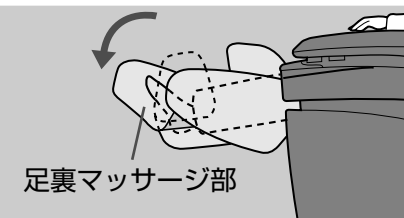
●足裏マッサージ部のスライド量を調節するとひざがうきにくくなります。



●脚のせ台を下げてもひざがうきにくくなります。

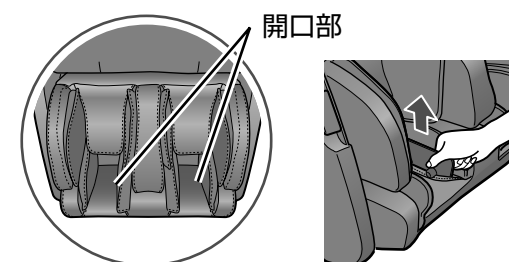


足裏マッサージ部を倒して、脚を広くマッサージすることもできます



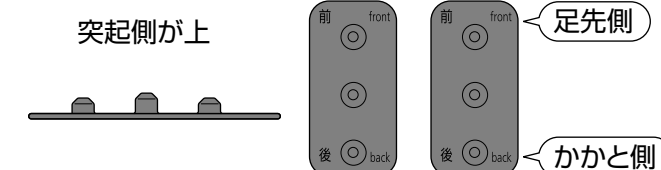
足裏指圧シートについて

足裏指圧シートは着脱することができます。



取り付けるときは

足裏指圧シートの向きに注意して、開口部から挿入してください。



「肩」「腕」「腰」「脚」のエアーマッサージや 「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチがしたい(つづき)

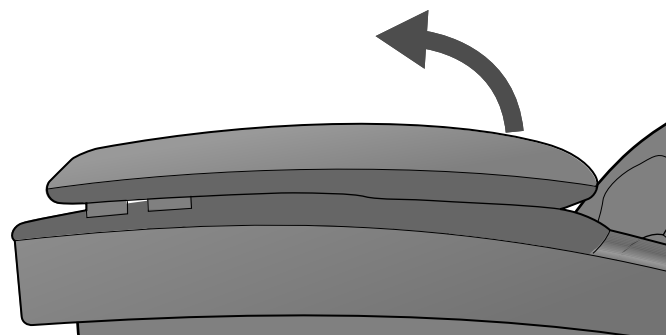
⚠ 注意

- 手や腕をマッサージするときは、時計、つけ爪、指輪など硬いものははずす。
守らないとけがのおそれがあります。

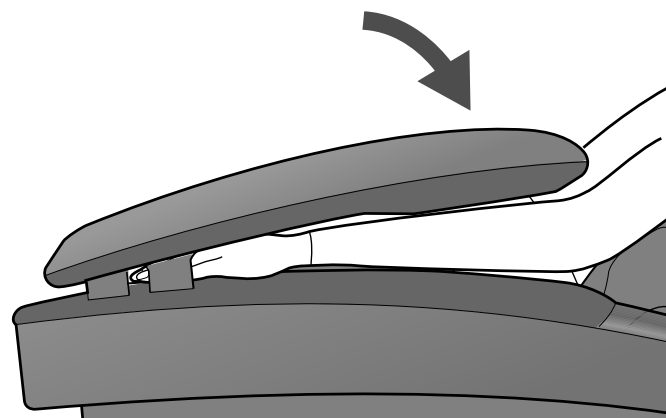
手・腕マッサージの使いかた

- 腕マッサージの動作内容についてはP.39をご参照ください。

1 手・腕マッサージ部を開く



2 指を伸ばして手を入れる

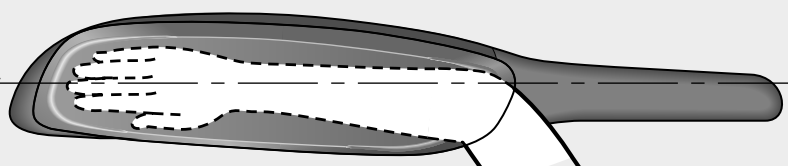


手・腕マッサージの上手な使いかた

手・腕マッサージ部の中心に手・腕を置いてください。

ひじ掛けの中心に
手・腕を置く

手を深く入れる



- 手・腕の位置を合わせにくいときは、背もたれを起こしてください。

「肩」「腕」「腰」「脚」のエアーマッサージの 動作内容について

「肩」マッサージの動作内容

肩～腕を横からはさむように圧迫します。

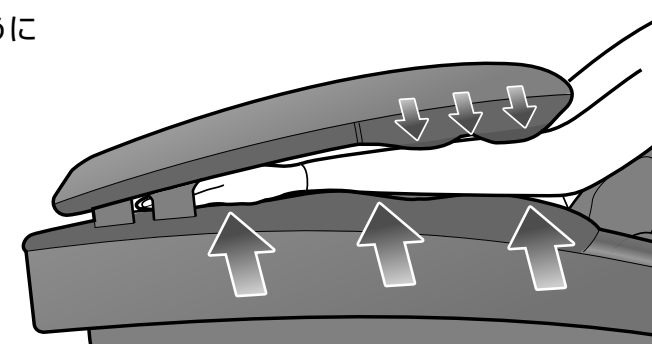
「腰」マッサージの動作内容

腰～太ももを横からはさむように圧迫します。
座面の3つのエアバックでお尻から太もも裏までを
刺激します。



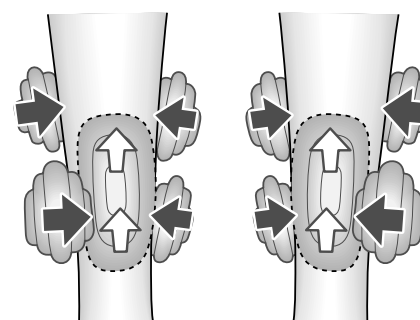
「腕」マッサージの動作内容

手・腕：手～腕までを上下にはさむように
圧迫します。

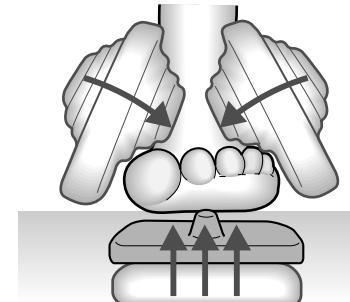


「脚」「足裏」マッサージの動作内容

脚：ふくらはぎを両側からはさんで
裏から押し上げるように圧迫します。



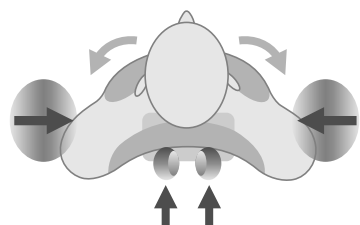
足裏：足を横と下からエアで
圧迫します。



「肩」「腕」「腰」「脚」のエアーマッサージや
「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチがしたい(つづき)

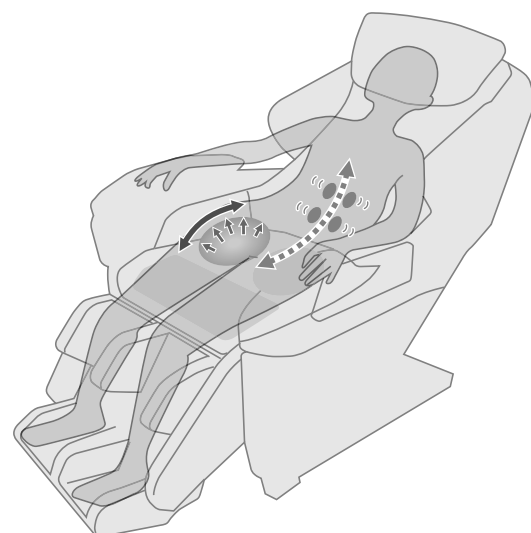
「肩甲骨」「骨盤」「脚」のストレッチの
動作内容について

「肩甲骨」ストレッチの動作内容



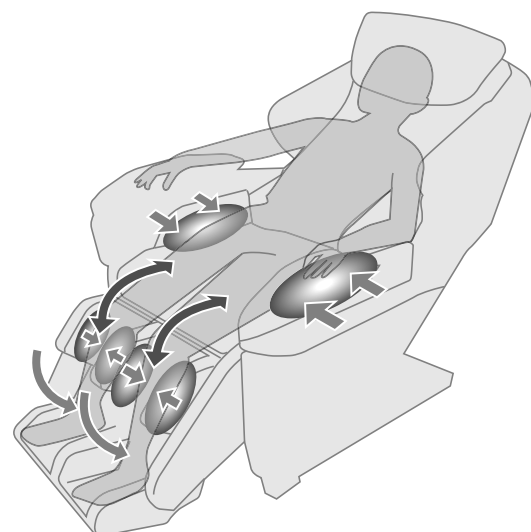
肩横マッサージ部で肩をおさえながら背中をもみ玉で押すことで、肩甲骨から胸まわりの筋肉を伸ばします。

「骨盤」ストレッチの動作内容



骨盤まわりを大きくひねったりゆらしたりすることで筋肉をほぐします。

「脚」ストレッチの動作内容



太もも横と脚・足裏をはさみながら脚のせ台を下に下げて、脚を伸ばします。

- 足裏マッサージ部をスライドさせて伸ばした状態で「脚」ストレッチをした場合、足裏マッサージ部が床などに当たる場合があります。

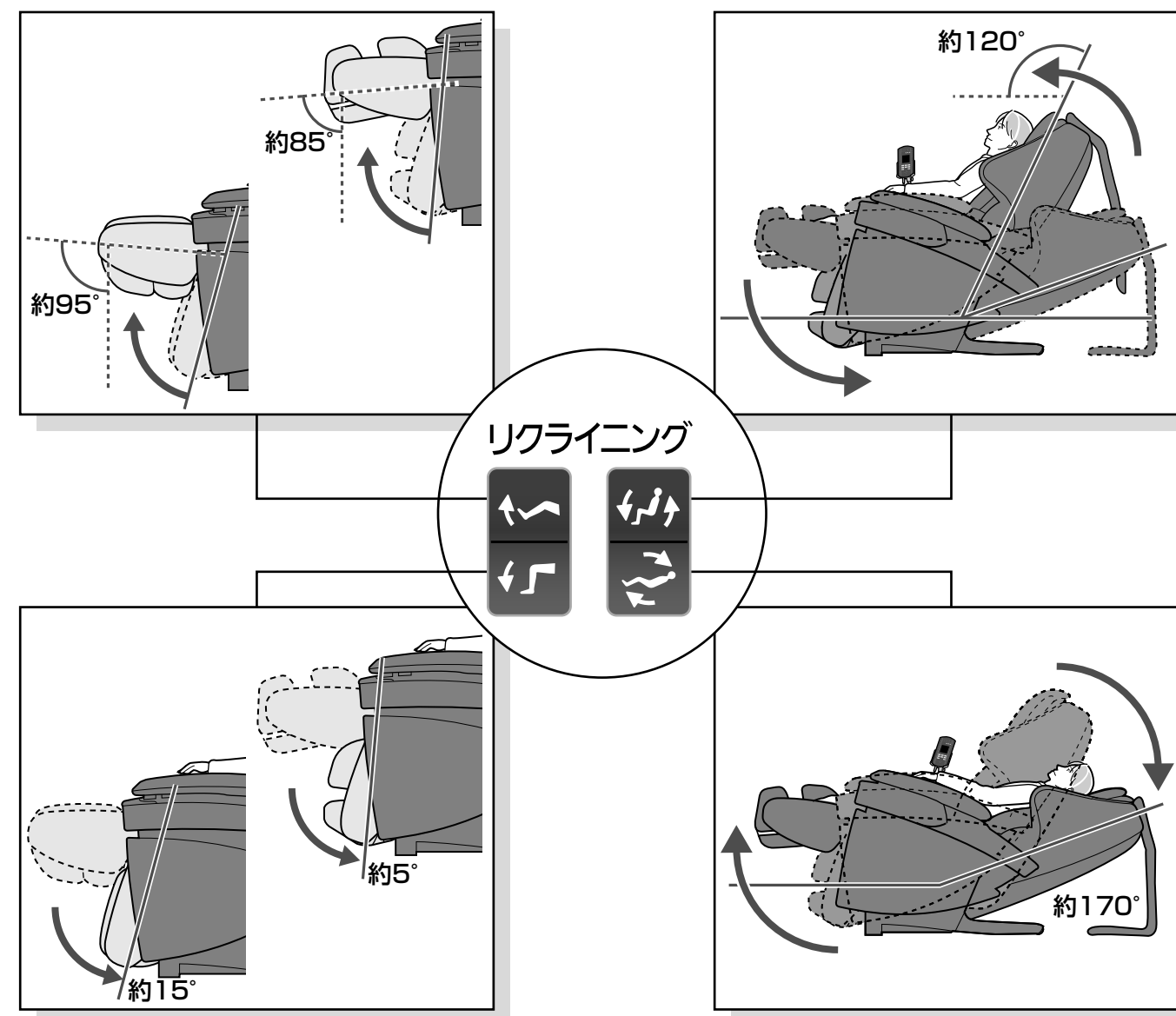
リクライニング角度と脚のせ台を調節する

1 切/入 を押して、電源を入れる

(電源を入れてから3分以内に操作しないと、自動で電源が切れます)

2 リクライニング を押して、調節する

- 押している間、「ピーピーピー」と鳴るまで動き続けます。
- 脚のせ台は少し遅れて動き出すことがあります。
- 背もたれのリクライニングに連動してひじ掛けが動きます。



- 背もたれや脚のせ台の上げ下げを連続して何度も繰り返すなど、お好みの姿勢にする目的以外で使用することはおやめください。

マッサージを終了する

タイマー機能について

マッサージを開始してから約16分で自動的に停止します。

- 足裏マッサージ部が倒れるので、安全に立ち上がれるように脚のせ台が自動で下がります。

足裏マッサージ部のスライドを伸ばしている場合は足裏マッサージ部が床などにあって完全に収納されません。
完全に収納するには脚を浮かせてください。



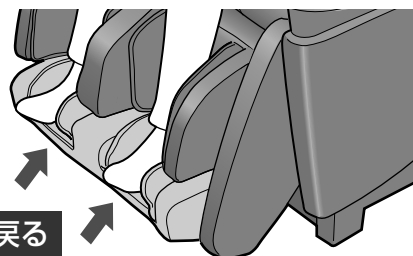
- 背もたれは自動では起きません。
 - もみ玉が収納位置まで動きます。
- 切/入** を2回押すと背もたれが起き上がります。

マッサージを途中で終了したいときは

足裏マッサージ部のスライドを完全に戻し **切/入** を押す

- もみ玉が収納位置まで動きます。
- 自動で脚のせ台が下がり背もたれが起きます。
(背もたれはもみ玉が収納してから動きます)

少し足裏をうかせると戻る



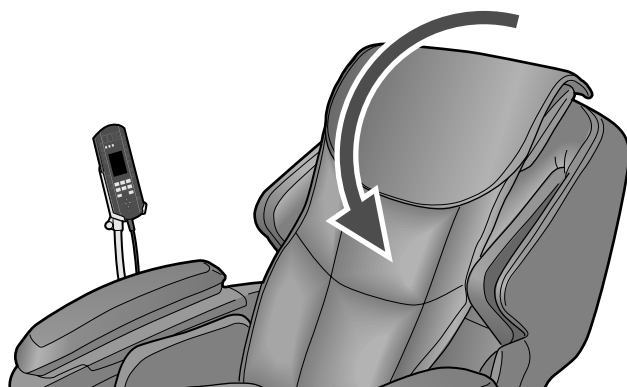
異常を感じたときは

急停止 を押す

- すべての動作がその場で停止します。
- 転倒に十分注意しながら、本体から降りてください。

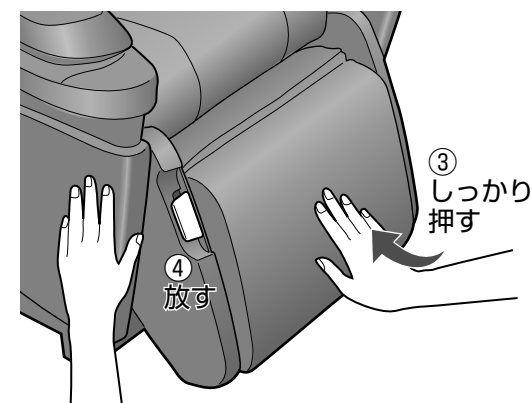
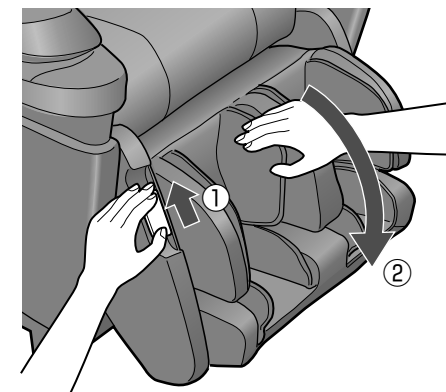
ふだんお使いのチェアの状態に戻す

1 くつろぎクッションを
背もたれに掛ける



2 脚のせ台を収納する

- ①脚のせ台反転ロック解除レバーを矢印の方向に引きながら
- ②上から反転させる
- ③回転が止まるまで反転させてから
- ④脚のせ台反転ロック解除レバーを放す
- ⑤脚のせ台が回転しないことを確認する



⚠ 警告

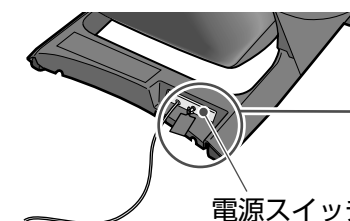
- 足を入れた状態、本体に座った状態で脚のせ台反転ロック解除レバーを引かない。
事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意

- 脚のせ台が回転しないことを確認してから座る。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 脚のせ台と座面、ひじ掛けの隙間に手、指、脚や頭を入れない。
- 脚のせ台の裏側に手、指、脚や頭を入れない。
けがのおそれがあります。

電源を切る

- 1 電源スイッチを「切」にする
- 2 施錠スイッチを「閉」にして
施錠キーを抜く



電源スイッチ部

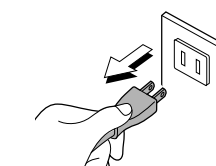
⚠ 警告

- ご使用の後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜き、電源プラグを抜く。
守らないとお子様のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

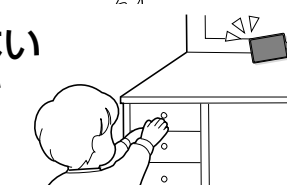
⚠ 注意

- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。
守らないと感電やショートのおそれがあります。

3 電源プラグを抜く



4 子供の手の届かない場所に施錠キーを保管する



⚠ 注意

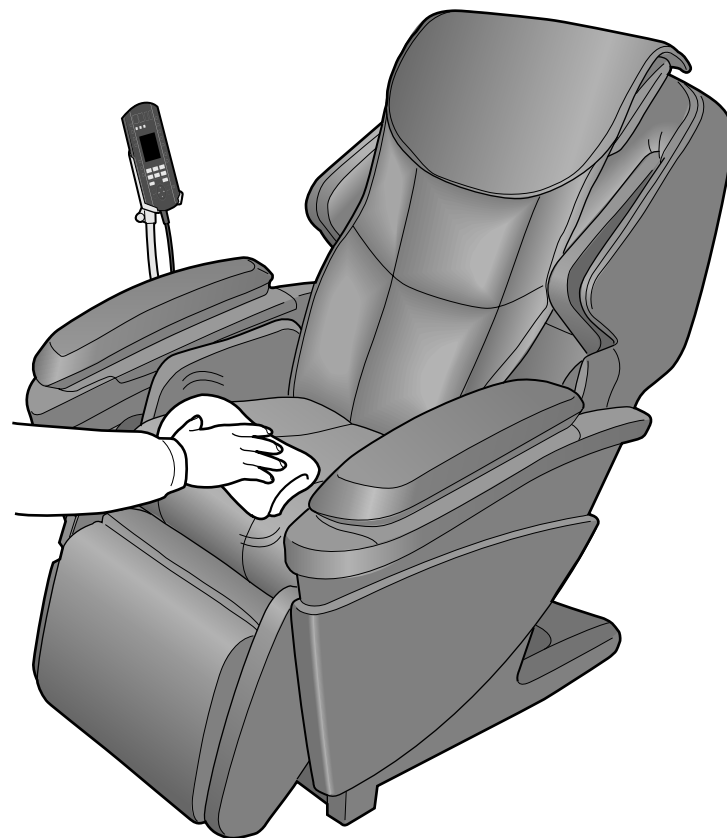
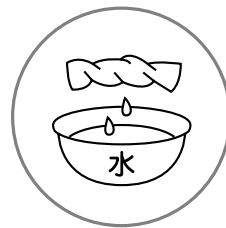
- 施錠キー・取付ネジは、子供の手の届かない場所に保管する。
守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

⚠ 注意

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電ややけどのおそれがあります。

合成皮革部分



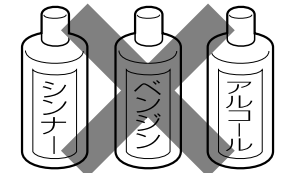
柔らかい乾いた布でふく

- 市販のレザーお手入れ用品(化学ぞうきん)をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 汚れがひどい場合は、以下の手順でふきとってください。
 - ① 水または中性洗剤をぬるま湯で3～5%位にうすめたものに、柔らかい布をひたし、よくしぼる。
 - ② 表面をたたくようにふく。
 - ③ 水を含ませた布をよくしぼってから、洗浄液をふきとる。
 - ④ 柔らかい乾いた布でふく。
 - ⑤ 自然乾燥させる。
- 汚れが落ちにくい場合は、市販の「メラミンフォーム材質のスポンジ」で同様に中性洗剤を含ませふき取ってください。
- ドライヤーなどで急激に乾燥させないでください。
- 合成皮革部に色が移ることがありますので、ジーンズや色柄ものなど、色落ちしやすい衣類での使用はご注意ください。
- 変色の原因になりますのでビニール製品などを長時間接触させないでください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。

プラスチック部分

1 中性洗剤を含ませた布をよくしぼってからふく

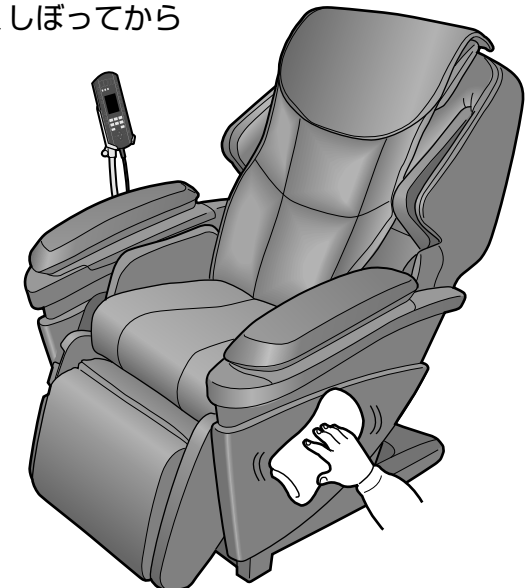
- シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。



2 仕上げに水を含ませた布をよくしぼってからふく

- 操作器をお手入れする際は、特によくしぼってからふくようにしてください。

3 自然乾燥させる



布地部分

1 中性洗剤を含ませ、よくしぼった布でふく

- シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は絶対使用しないでください。

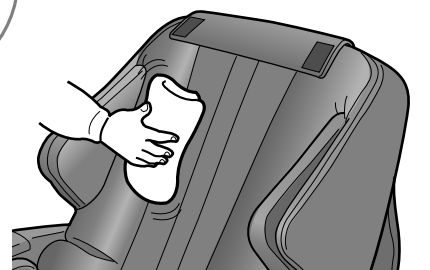
2 特に汚れがひどい場合は、水または中性洗剤でブラシ洗浄する

- こすりすぎると、布地をいためることがあります。



3 仕上げに水を含ませ、よくしぼった布でふく

4 自然乾燥させる



- 布地部分に色が移ることがありますので、ジーンズや色柄ものなど、色落ちしやすい衣類での使用はご注意ください。

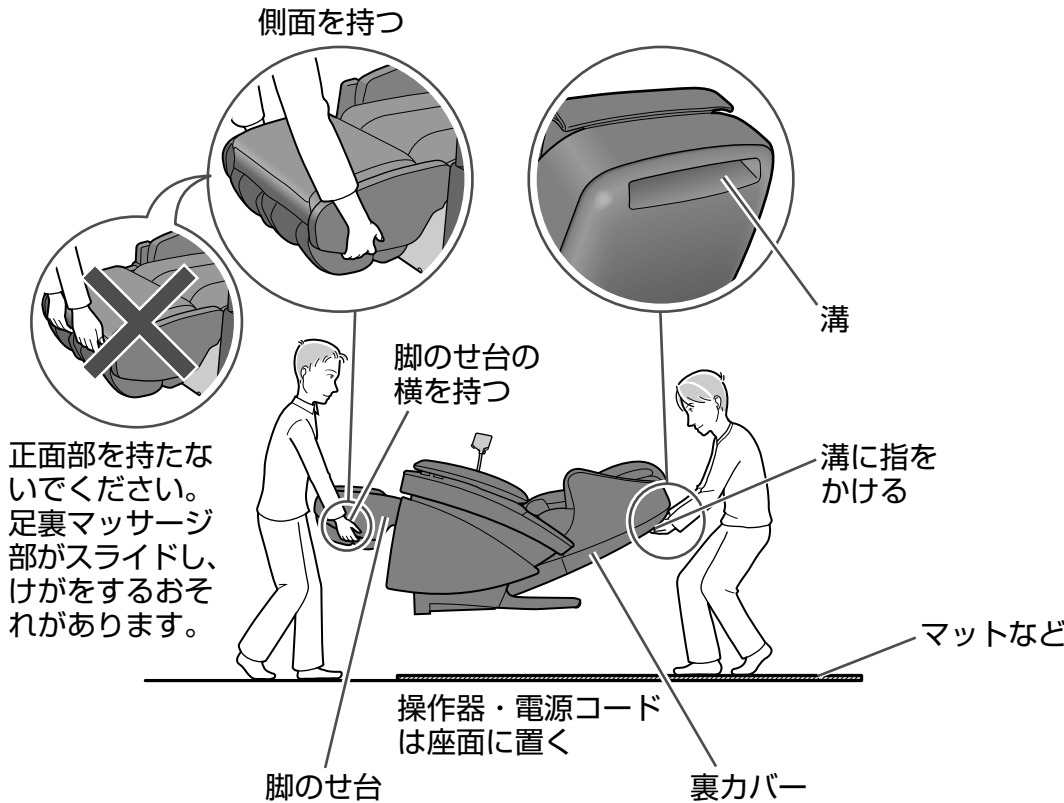
本体を移動するときは

⚠ 注意

- 設置された状態のまま、本体を引きずったり押したりしない。
- 床やたたみの上で、キャスターを使って移動させない。
床やたたみに傷がつくおそれがあります。
- 人をのせたまま移動しない。
転倒による事故やけがのおそれがあります。
- キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ(床から約80cm以下)、ゆっくり移動する。
守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。

2人以上で持ち上げて移動する

前後から2人以上で脚のせ台の横と
背もたれの裏カバーの溝を持って移動する



※正しい持ちかたをしないと、本体を落として床を傷つけるおそれがあります。
特にひじ掛けを持って運ぶと、破損のおそれもありますので絶対におやめください。

- 本体を下ろすときは
- 十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
 - 脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。
途中で手を放すと勢いよく戻ります。

キャスターで移動する

脚のせ台の横を持ち、
キャスターで移動する

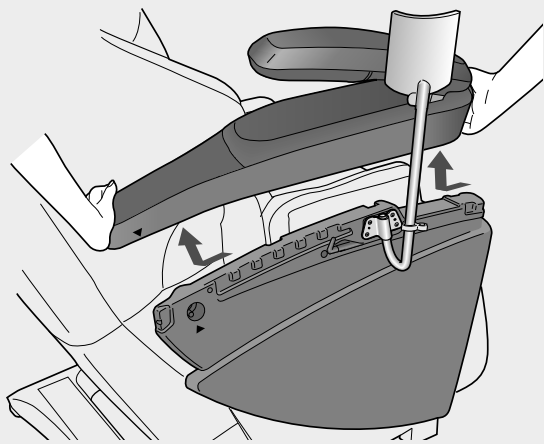


- 本体を下ろすときは
- 十分足元に注意してゆっくり下ろしてください。
 - 脚のせ台は最後まで手をそえて下ろしてください。
途中で手を放すと勢いよく戻ります。

ひじ掛けのはずしかた

ひじ掛けをはずすと移動しやすくなります。

- 1 エアープラグを取りはずす
(P.15手順3参照)
- 2 取付ネジを取りはずす
(P.14手順2の③参照)
- 3 ひじ掛けを後ろにスライドし、
両手で持って引き上げる



使用できますか？

Q 病気で通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、使用してください。

マッサージは「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては、悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。
(P.4 ~ P.5参照)

こんな使いかたはできますか？

Q 上半身だけ、脚だけのマッサージで使えますか？

A お使いいただけます。

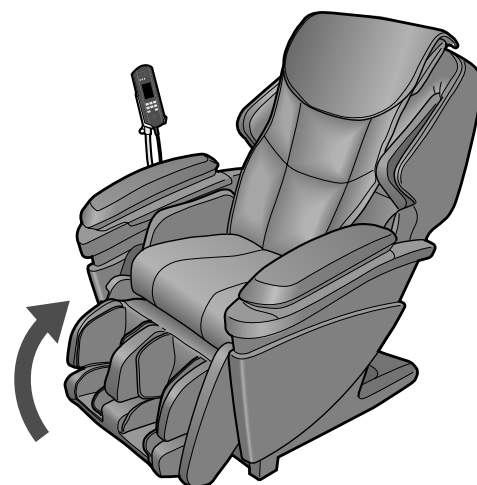
上半身だけの使用

脚のせ台を収納し、くつろぎクッションをめくり上げ、背もたれと枕が出ている状態でご使用ください。



脚だけの使用

くつろぎクッションを背もたれにつけたままで、脚・足裏マッサージをご使用ください。
(脚・足裏マッサージ部の出しかたはP.18参照)



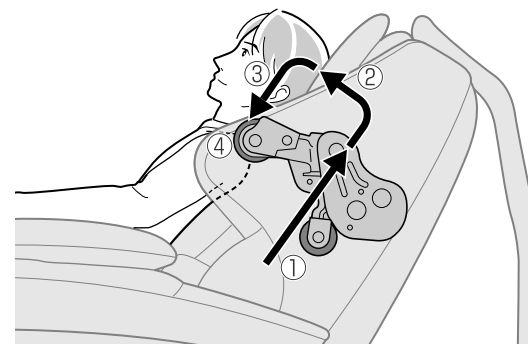
体型センシング※について

Q 体型センシングってどんな動きをするの？

A 以下のような動きかたをして肩位置を検出します。

- ①「ピッピッ…」という体型センシング音とともに、もみ玉が背すじにそって首付近まで上昇します。
- ②もみ玉がせり出てきます。
(肩位置が合っていない場合には再度上昇し、肩位置を合わせる動作を繰り返します。)
- ③もみ玉が肩位置までゆっくり下がってきます。
- ④肩の位置でたたき動作を約12秒間行います。
●たたき動作中でも **決定** を押すと、体型センシングが完了しマッサージがはじまります。

※体型センシング…測定動作のこと



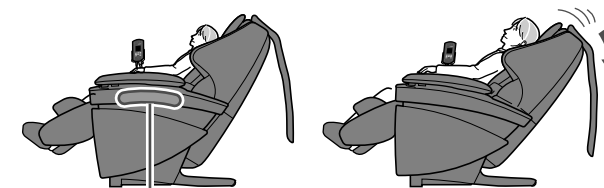
- 正しく体型センシングできる身長を目安は約140cmから約185cmの範囲です。

Q 身長が約140cm未満の人や、約185cm以上の人は使えないのですか？

A お使いいただけます。

体型センシングの際に、肩位置が合わない場合がありますので、下記のような方法でご使用することをおすすめします。

〈約140cm未満の場合〉 〈約185cm超の場合〉



座面に座布団を敷いて深く腰掛けてお使いください。

背もたれを倒して前へ体をずらしてお使いください。

Q 体型センシングやマッサージの途中でボタンが点滅し、ピピッと5回ブザーが鳴り(**U**、**U** 表示)、動作が終了したのですが…？

A 以下のような理由で、人体を検知できない場合は安全のため停止します。

- ①人が座っていない。
- ②頭や背中を背もたれから浮かせている。
- ③背もたれ部にクッションなどの敷物をしていたり、厚手の服を着ている。

深く腰かけ、頭を枕につけるようにゆったりもたれ、 **急停止** を押してから、再度 **切/入** を押してはじめてください。

- ④くつろぎクッションをめくり上げていない。

Q 体型センシングしても肩位置が合わないのですが…
(毎回、肩位置がずれるのですが)

A 座る位置や姿勢(前かがみなど)によって正しく体型をセンシングできない場合があります。

位置調節ボタンで肩位置を調節してください。
(P.25参照)

より正しくセンシングするためには、椅子に深く腰かけ、頭を枕(背もたれ)につけるようにゆったりともたれてください。

Q&A (つづき)

上半身のマッサージについて

Q 全身自動コースを「一番強くしても物足りないのですが…」
または、「一番弱くしても強すぎるのですが…」

A 下記の方法を試してください。

<全身自動コースを一番強くしても物足りない場合>
背もたれを倒すと体重がかかりより強くマッサージができます。

<全身自動コースを一番弱くしても強すぎる場合>
背もたれに布や毛布などを掛けると、もみ玉のあたり感がやわらかくなります。
また、腰が強い場合には、エアーの腰ボタンを押して、腰のエアーを解除するとあたり感が弱くなります。

Q 位置調節をしてもすぐに動かないのですが…

A 調節ボタンを押したタイミングによっては、すぐに動かないことがあります。
(わずかな時間差がありますが、異常ではありません)
また、ボタンを押して「ピーピーピー」と音が鳴るときは、限界点まで達しており、それ以上調節できません。

Q 左右の強さが異なるように感じるけれどだいじょうぶ？

A 構造上異なって感じる場合があります。

より自然な感覚でマッサージを行うために交互たたき機構を採用しているため、もみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じる場合がありますが、故障ではありません。

手・腕のマッサージについて

Q 手・腕マッサージは左右同時にできないの？

A 異常や危険を感じたときに、すぐ停止できるように左右交互にマッサージしています。

Q 手・腕エアーマッサージの後、手・腕の裏に赤い点が残るんですが…

A 使用後、手や腕にマッサージのあとが残る場合がありますが時間とともに消えていきますので問題ありません。

リクライニングについて

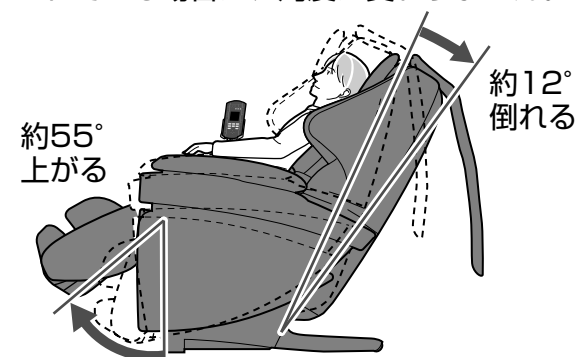
Q 背もたれや脚のせ台、ひじ掛けの角度が自動で変わる場合がありますが…

A 以下のような場合に自動で角度が変わります。

①「全身自動コース」・「ストレッチ動作」・「お好み動作」を開始したとき。

自動でマッサージポジションまで倒れます。

※すでにマッサージポジションよりも倒れている場合は、角度は変わりません。

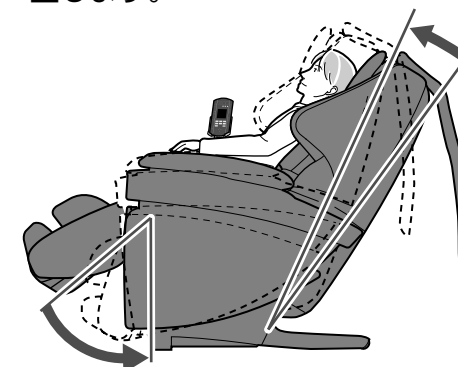


② 切/入 を押して、マッサージを終了したとき。

自動で起きた状態に戻ります。

※16分タイマーで終了した場合は脚のせ台だけ戻ります。

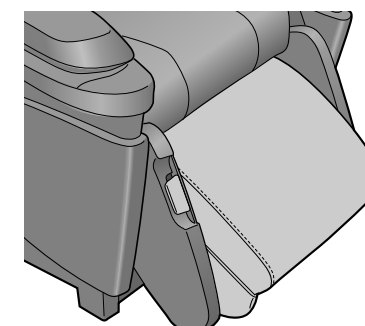
※ 急停止 で終了した場合は、自動で角度は変わらず、その場ですべての動作が停止します。



脚のせ台について

Q 収納する際、反転中に脚のせ台反転ロック解除レバーを放すと、脚のせ台が回転途中で止まることあるのですが…

A 安全のため、途中で脚のせ台が止まる構造になっています。



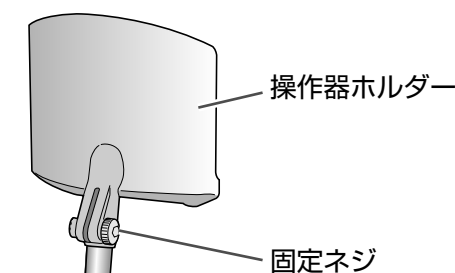
●ご使用の際は、正しい位置まで回転させてください。

操作器について

Q 操作器ホルダーがぐらぐらするのですが…

A 固定ネジを六角レンチなどで締めなおしてください。

操作器ホルダー部がはずれた場合は、固定ネジをゆるめてからはめこみ、再度固定ネジを締めてください。



●付属品の六角レンチで締めることができます。

その他

Q 1か月の電気代はいくらですか？

A 1日2回(16分×2回)毎日使用した場合、約42円/月(税込み)です。
新電力料金目安単価22円/kWh(税込み)で計算

Q 長く使っていて音が大きくなってきましたが…

A 故障の場合も考えられますので販売店に点検・修理をご依頼ください。

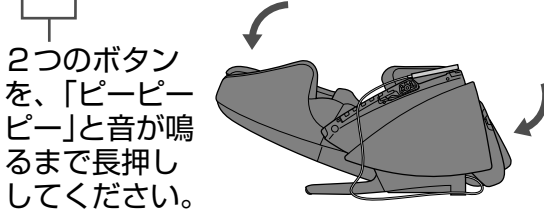
Q タイマー機能はついてますか？

A ついています。
使いすぎ防止のために、マッサージをスタートさせてから約16分で自動的に終了します。タイマーが切れると、脚のせ台が自動で下がり、もみ玉が下部に移動して収納状態で止まります。
再度ご使用のときは、**切/入** を押してください。
● 16分使用した後は10分程休みましょう。
● 1日2回まで約30分を目安にご使用ください。

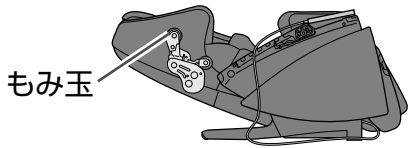
Q 引っ越しなどで、本体を運搬する際の注意点は？

A 次の点にご注意ください。
※本体の重心を中心に寄せて運搬しやすくするために、背もたれを倒し、もみ玉を背もたれの中央付近まで上げてください。
※人が座っていない状態で行ってください。

- ① **切/入** を押して、電源を入れる
② **リクライニング** を押して背もたれが倒れた状態にする



- ③電源が入ったままの状態「全身自動コース」のいずれかのコースを選択する
●もみ玉が動き出し、背もたれ中央付近まで来たところでエラーが出て停止します。



- ④ **急停止** を押して、電源を切る
● **切/入** を押すと、背もたれが自動で起き上がってしまいますので、必ず **急停止** を押してください。
⑤電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く(P.43参照)

やむをえず、背もたれを起こした状態で輸送する場合は、次の手順で行ってください。
(1)上記の手順のうち、①→③→④を行い、もみ玉を中央付近まで上げる
(2)再度操作器の電源を入れて、背もたれを起こし、**急停止** を押して電源を切る
●梱包箱がない場合は、傷や振動対策として梱包材で保護して、大切に扱ってください。
●梱包の際は、電源コードや操作器コードが本体に絡まっていないことを確認し、操作器とともに座面の上にまとめるなど、輸送時に地面に擦らないように配慮してください。

全身自動コース／動作の内容／音声ナビ機能について

全身自動コースの内容について

たたき爽快コース	首・肩のたたき、さすり	腰のたたき、もみ 骨盤ストレッチ	首・肩のたたき、もみ 肩甲骨ストレッチ	背・腰のたたき、もみ	脚ストレッチ	首・肩のたたき、さすり	仕上げ※
もみほぐしコース	首・肩の揉ねつ、もみ	腰の揉ねつ、もみ	脚ストレッチ 骨盤ストレッチ	首・肩の揉ねつ、もみ	肩甲骨ストレッチ	背・腰の揉ねつ、もみ	仕上げ※
指圧痛快コース	首・肩の指圧、揉ねつ	腰の指圧、もみ	背の指圧、のぼし 肩甲骨ストレッチ	首・肩の指圧、揉ねつ	背・腰の指圧、もみ	骨盤ストレッチ 脚ストレッチ	仕上げ※
骨盤コース	骨盤ストレッチ3回 背すじのぼし	脚ストレッチ	肩甲骨ストレッチ 背すじのぼし	骨盤ストレッチ2回 背すじのぼし	脚ストレッチ 背すじのぼし	骨盤ストレッチ 背すじのぼし	仕上げ※
首肩コース	首・肩の指圧、もみ	背ののぼし 肩甲骨ストレッチ	首・肩の指圧、もみ	背ののぼし	首・肩の指圧、もみ	仕上げ※	
腰コース	背・腰の揉ねつ、のぼし	背・腰の揉ねつ、のぼし	骨盤ストレッチ 脚ストレッチ	背・腰の揉ねつ、のぼし	背・腰の揉ねつ、のぼし	仕上げ※	

※「仕上げ動作」の時間は、身長や強さの設定値によって変わります。 ▶ 次のページにつづく

動作の内容について（イラストは動作のイメージ図です）

揉ねつ
ポイントで小さくこねるような動作

指圧
コリポイントを垂直に圧迫する動作

もみ
グイっともみこむ動作

さすり
広くやさしくなでるような動作

のばし
部位を伸ばす動作

たたき
左右交互にトントンとたたく動作

背すじのばし
背すじにそって体を伸ばす動作

●それぞれの動作は選んだ場所に合わせた動きかたをします。たとえば、「首」の指圧と、「肩」の指圧は異なる動作です。

音声ナビ機能について 操作手順や動作の内容を簡単に説明する機能です

それでは点滅しているボタンから全身自動コースをお選びください

このコースは肩を上から指圧する強いマッサージがお好きな方向けのコースです

音量を調節するときは
音声 を押して調節する(押すごとに音量が切り替わります)

表示部

音量

切 小 中 (お買い上げ時) 大

操作音(ビッ)や限界音(ピーピー)は消えません。

●全身自動コースご利用中の音量を登録して利用することができます。▶ P.28参照

エラー表示について

動作中にエラーが発生した場合は、エラー内容が残り時間表示部に表示されます。

残り時間表示部

＜エラー表示の例＞
●エラー内容「U10」の場合
U,10 が交互に点灯します。

エラー表示	内 容
U 10	人が座っていることを確認できないと、安全のため動作を終了します。座っているにもかかわらずこのエラーが出た場合は、 急停止 を押してから、背もたれに深く座りなおし、再度操作しなおしてください。
F 11 F 12	内部の通信系統に異常がありますので、動作を終了します。
F03 F04 F05 F06 F 18 F33 F36 F37 F38 F80 F81 F82	もみ機構部に異常がありますので、動作を終了します。
F 14 F 15 F 16 F 17 F34 F35	リクライニング機構や脚のせ台の上下機構に異常がありますのでもみ機構部以外の動作を終了します。
修理で相談センターにご連絡ください。 ご連絡の際に、エラー表示の番号を伝えてくださると、 点検・処置の対応がスムーズになります。	

故障かな？と思ったとき

下記の点検と処理をお願いします。
処理後なお異常がある場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
修理をご依頼される場合は、裏表紙をご覧ください。

症 状	原因と処置
もみ玉が途中で止まる (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	ご使用中、無理な力がかかった場合、安全のためにもみ玉の動きが止まることがあります 表示部やボタンがすべて点滅してもみ玉の動きが停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。再度止まる場合は、体を浮かし気味にしてご使用ください。 (特に体重100kg以上の方がご使用になるときはご注意ください。)
リクライニングができない 脚のせ台の上げ下げができない (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	障害物にあたるなど、ご使用中、無理な力がかかった場合、安全のために動作が止まることがあります。 表示部やボタンがすべて点滅して背もたれ、または脚のせ台が停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。
もみ玉が肩や首の位置まで来ない	頭が枕から離れていたり、背中が浮いていると体型センシングのときに、肩の位置を実際より下に検知してしまう場合があります。深く腰かけ、頭を枕につけてマッサージを最初からやり直してください。 ☞ P.24参照
左右のもみ玉の高さ(強さ)が異なる	交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。 ☞ P.50参照
「温感」もみ玉が温かくならない	● ☞ (温感切) ボタンが「切」になっている。 ● もみ玉の温かさの感覚は体型、マッサージ部位、マッサージ動作、衣服、室温により異なります。
「温感」もみ玉スイッチを切っても冷めない	● ヒーターの構造上一度温まると、しばらくの間余熱で温かく感じることがあります。 ● 「温感」もみ玉「切」の状態でも同一個所をマッサージし続けると、体感温度が上がる場合があります。
自動コースでマッサージをスタートしてもリクライニングしない (自動リクライニングしない)	背もたれや脚のせ台の位置(角度)により自動リクライニングしない場合があります。 ☞ P.51参照
リクライニングが自動で戻らない	タイマーが働いて終了したときや ☞ 急停止 を押して終了したときは自動で戻りません。 (リクライニングを戻したい場合は ☞ 切/入 を2回押してください。)
動作しない ● 上半身(首～腰)のマッサージ ● 下半身のマッサージ ● 手・腕のマッサージ	● 電源プラグが抜けている。 ☞ P.19参照 ● 本体の電源スイッチが「切」になっている。 ● 操作器の ☞ 切/入 を押したあと、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。

症 状	原因と処置
手・腕のマッサージができない	ひじ掛けのエアープラグが抜けている。 ☞ P.15参照
マッサージ停止後に再度 ☞ 切/入 を押しても電源が入らない	終了処理中(約5秒間)のため ☞ 切/入 を受けつけない場合があります。 すべての動作が終了して、約5秒以上たってから ☞ 切/入 を押してください。
破損してしまった	事故防止のため必ず販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。 ☞ 裏表紙参照
電源コード、プラグが異常に熱い	

動作中発生する音や感覚について

ご使用中に下記のような動作音や感覚がありますが、構造上発生するものですので異常ではありません。

- 動作時にもみ玉が生地のシワを乗り越えるときの音・感覚(ポコン音・カクン音)
- もみ・たたき動作などの動作音(カタカタ音・ピチピチ音・シャカシャカ音)
- もみ玉動作時のキシミ音(キシキシ音)
- 上下動作時の動作音(カタカタ音)
- ベルトの回転音(シュルシュル音)
- モーター音(ウォーン音・ウィーン音・ジー音)
- もみ玉が『押し』から『引き』に変わる際の音(カクン音・コツ音)
- 着座時の音(ギュッ音)

- リクライニング時のひじ掛けとくつろぎクッションのこすれ音(ギュー音)
- もみ玉と布のこすれ音(ギュッキュ音)
- エアーの排気音(シュー音・スー音)
- エアー加圧動作音(ブー音)
- 脚のせ台のガタつき
- 座面下からのポンプ動作音(ビー音・ウーン音・ブーン音)
- 座面下からのバルブ動作音(コツ音)
- 脚ストレッチ、動作時のカクン音

愛情点検

★長年ご使用のマッサージチェアの点検を!

こんな症状はありませんか

- コードや電源プラグが異常に熱い。
- 動作中に異常な音、振動がある。
- スイッチを入れても、時々運転しないことがある。
- 本体が変形したり、こげくさい臭いがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

使いかたによりますが、目安として1日30分程度のご使用で1～2年程度に1度点検(有償)していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

警告

● 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

注意

● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。
守らないと感電や発火のおそれがあります。

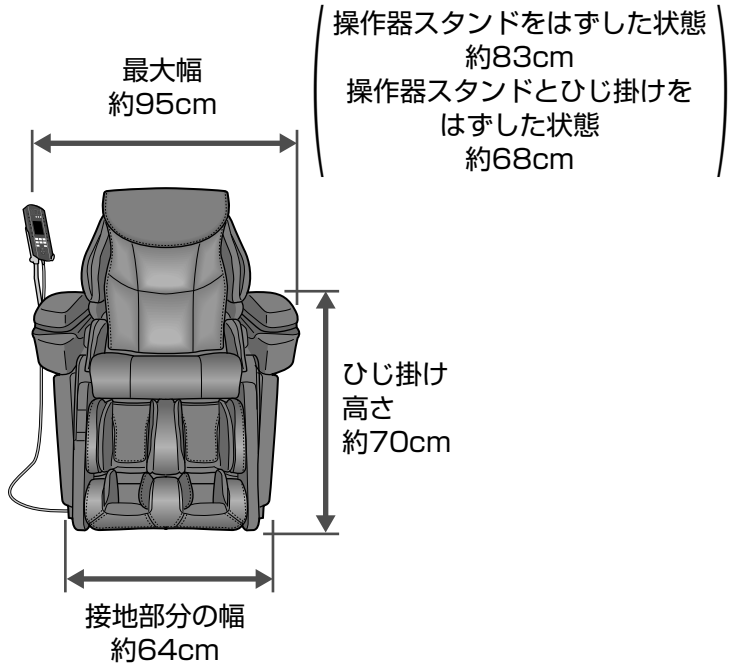
定格・仕様

販売名	マッサージチェア EP-MA70		
使用電源	交流100V 50-60Hz		
消費電力	120W (操作器で「切」のとき約0.3W)		
電熱装置消費電力	23W		
類別	機械器具77パイブレーター		
一般的名称	家庭用電気マッサージ器(JMDNコード34662000)		
医療機器認証番号	222AKBZX00007000		
医療機器の種類	管理医療機器		
上半身マッサージ	施療範囲(上下方向)	約78cm (もみ玉移動距離約62cm)	
	施療範囲(左右方向)	もみ動作時のもみ玉間隔(もみ玉の幅含む) 首・肩・背・腰部 約5cm～約21cm 背すじのばし、上下移動時のもみ玉間隔(もみ玉の幅含む) 約5cm～約17cm	
	施療範囲(前後方向)	もみ玉の突出量(強弱調節)約10cm	
	マッサージ速さ	たたき 約190回/分～約520回/分(片側) 背すじのばし 約36秒～約91秒で1往復 上記以外 約4回/分～約50回/分	
エアーマッサージ	エア圧力(ふくらはぎ)	3…約32kPa 2…約28kPa 1…約16kPa (※部位によって若干の違いがあります。)	
リクライニング角度		背もたれ…約120度～約170度 脚のせ台(脚・足裏マッサージ部) …約5度～約85度 脚のせ台(フラット部) …約15度～約95度	
タイマー		約16分で自動で切	
大きさ	リクライニングしていないとき	高さ約115cm×幅約95cm×奥行約122cm	
	リクライニングしたとき	高さ約66cm×幅約95cm×奥行約202cm	
質量		約85kg	
張地		合成皮革	
製造販売元		パナソニック電工株式会社 滋賀県彦根市岡町33番地	
製造元		パナソニック電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地	

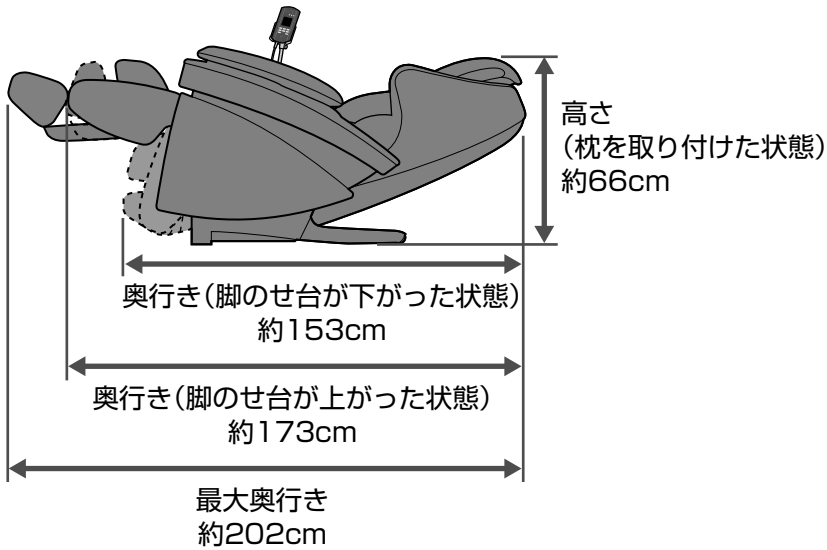
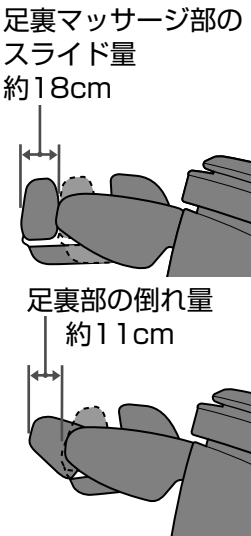
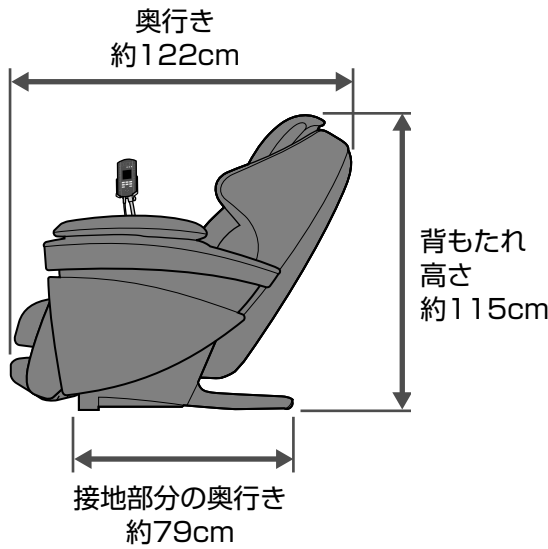
本製品は体重が約100kg以上の方が使用された場合、動作音が大きくなったり、布カバーの磨耗が早まるなどの場合があります。

本体の寸法

正面



側面



保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・使いかた・お手入れなどは

■まず、お買い上げの販売店へ
ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったとき」(P.56～57)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いてお買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-----------|
| ●製品名 | マッサージチェア |
| ●品番 | EP-MA70 |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間(ただし、一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合は、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

*補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、このマッサージチェアの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

地球の環境保護の為、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めに従ってください

■転居や贈答品などで困りの場合は、以下の窓口にご相談ください

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

●修理に関するご相談は………

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

修理ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-081-365** ハイ 365日
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/光電話等は下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
パナソニック電工テクノサービス(株)

札幌 ☎011-261-6401 (転) 名古屋 ☎052-551-7900 (転)

東京 ☎03-5392-7190 (転) 福岡 ☎092-622-0531 (転)

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365** パナは 365日
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■上記番号がご利用いただけない場合…**06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0911

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/>

ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて

パナソニック電工株式会社およびパナソニック電工グループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問合せ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社

パナソニック電工株式会社 ヘルシー・ライフ事業推進部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2010

パナソニックホームページ <http://panasonic.jp>

P9310MA701

Y0310-0

2010年3月1日作成(新様式第1版) Printed in Japan